

平成 28 年度診療報酬改定の結果検証に係る特別調査（平成 28 年度調査）

重症度や居住形態に応じた評価の影響調査等を含む

在宅医療・訪問看護の実施状況調査

～歯科編～ 報告書

◇◆目 次◇◆

I. 調査の概要	1
II. 調査の結果	5
1. 回収結果	5
2. 施設調査	6
(1) 管理者の基本属性	6
(2) 施設の概要	7
(3) 歯科訪問診療の体制等	11
(4) 歯科訪問診療を提供した患者数等	15
(5) 歯科訪問診療等における取組内容	19
(6) 他施設等との連携状況	43
(7) 調査日における歯科訪問診療等	49
3. 患者調査	51
(1) 患者の基本属性等	51
(2) 歯科訪問診療等の内容	54

I. 調査の概要

1. 目的

平成 28 年度診療報酬改定では、休日の往診・看取り・重症児に対する医学管理等について実績を有する医療機関に対して評価が行われるとともに、個々の患者の状態や居住場所に応じたきめ細やかな報酬体系に見直しが行われた。また、在宅医療専門の保険医療機関が設けられた。

本調査では、このような診療報酬改定の内容を踏まえ、在宅医療（歯科訪問診療を含む）・訪問看護を提供する医療機関等の状況や、在宅医療・訪問看護を受けている患者の居住場所や重症度と診療の状況等について調査を行った。

なお、本報告書では在宅歯科医療についてのみとりまとめを行っている。

<主なねらい>

- ・ 歯科訪問診療の診療体制、診療内容等の把握
- ・ 歯科訪問診療を行った患者の状態、診療内容等の把握

2. 調査対象

本調査では、全国の在宅療養支援歯科診療所の施設基準の届出をしている歯科診療所の中から無作為抽出した 1,000 施設を本調査の対象とした。

3. 調査方法

- ・ 対象施設の開設者・管理者が記入する自記式調査票の郵送配布・回収とした。
- ・ 調査実施時期は平成 28 年 10 月 24 日～平成 28 年 12 月 22 日であった。

4. 調査項目

調査項目は次のとおりである。

区分	主な調査項目
施設調査	<p>○施設の概況</p> <ul style="list-style-type: none">・ 所在地、開設主体、標榜診療科、医科の医療機関の併設状況、同一建物内または同一敷地内の施設・事業所、届出のある施設基準・ 職員数、歯科訪問診療に従事した職員数、医療機器等の保有台数・ 施設基準の届出様式に記載した受講済みの「高齢者の心身の特性、口腔機能の管理及び緊急時対応等に係る研修」に関するその後の受講状況 <p>○歯科訪問診療の実施状況等</p> <ul style="list-style-type: none">・ 歯科訪問診療体制、在宅歯科医療に係る経験が3年以上の歯科医師数、

	<p>歯科訪問診療を実施していない理由</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 歯科訪問診療を専門に行っている施設における患者・家族等からの連絡に対する体制、外来歯科診療が必要な患者について診療を依頼している歯科医療機関数、往診や訪問診療に対応できなかったことの有無とその理由 ・ 平成 27 年 9 月と平成 28 年 9 月の歯科外来患者総数（延べ人数）・歯科外来患者数（実人数） ・ 訪問診療の開始時期 ・ 「特別な関係」にある病院又は施設等への歯科訪問診療等の有無 ・ 平成 28 年 9 月 1 か月間の歯科医師による歯科訪問診療を行った延べ日数、歯科衛生士が訪問歯科衛生指導を実施した延べ日数、歯科訪問診療等の延べ日数が「0」の場合の理由 ・ 平成 28 年 9 月 1 か月間の歯科訪問診療等を行った患者数（延べ人数、実人数、居宅療養管理指導を行った実人数、歯科衛生士のみで訪問し訪問歯科衛生指導（居宅療養管理指導を含む）を実施した患者の実人数、「在宅患者訪問口腔リハビリテーション指導管理料」を算定した患者の実人数） ・ 平成 28 年 9 月 1 か月間の算定回数（歯科訪問診療 1、2、3、居宅療養管理指導費（歯科医師、歯科衛生士等）） ・ 歯科医師が歯科訪問診療で訪問した建物の数（平成 28 年 9 月 1 か月間、施設種類別） ・ 最も遠くに住む患者と最も近くに住む患者について、訪問に際しての交通手段、移動時間、「単一建物診療患者数」、住居形態、歯科診療所との位置関係 ・ 歯科のある病院への歯科訪問診療等の有無、訪問のきっかけ、治療内容、役割分担の状況、分担内容（平成 28 年 4 月以降） ・ 在宅患者訪問口腔リハビリテーション指導管理料算定の有無、平成 28 年度 3 月以前の「摂食機能療法」の算定の有無、摂食機能療法と比較した対象患者・診療内容の変化、在宅患者訪問口腔リハビリテーション指導管理料を算定していない場合の理由 ・ 栄養サポートチーム連携加算 1、2 について算定の有無、NST・ミールラウンド等に参加している施設数、平成 28 年 3 月以前の NST・ミールラウンド等への参加の有無、平成 28 年 4 月以降の参加依頼件数の増加の有無、栄養サポートチーム連携加算 1、2 について算定していない場合の理由 ・ 在宅歯科医療推進加算の届け出の有無、平成 28 年 3 月以前の「在宅かかりつけ歯科診療所加算」の届出の有無、「在宅かかりつけ歯科診療所加算」の届出を行っていなかったが、在宅歯科医療推進加算の届
--	---

	<p>出をした理由</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 歯科訪問診療を行う上で困っていること <p>○他施設との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 医療機関からの患者紹介、情報提供・共有等の有無（医科医療機関、歯科医療機関）、文書による情報提供の内容 ・ 介護保険施設等との連携状況 ・ 直近1年間における、地域の在宅医療・介護等を担う医療機関・事業所との連携や地域住民を対象とした活動等の状況 ・ その他の機関等との連携、その具体例 ・ 他施設と連携する際に困ること <p>○歯科訪問診療の実施状況 (平成28年9月1日～9月30日の中で最も実績の多かった日について)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 歯科訪問を行った職員数 ・ 患者数、同一建物内の患者数、診療等合計時間
患者調査	<p>○基本属性等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 性別、年齢、住居、同居家族の有無 <p>○患者の状態</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 要介護度、認知症高齢者の日常生活自立度 <p>○在宅医療・介護サービスの利用状況等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 当該患者の利用している在宅医療・介護サービスの把握状況 ・ 歯科訪問診療以外に利用している在宅医療・介護サービスの内容 <p>○歯科訪問診療の状況等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 調査日に同一建物内で歯科訪問診療を行った患者数 ・ 算定した歯科訪問診療料の種類 ・ 平成28年9月1か月間に行った歯科訪問診療の頻度 ・ 調査日に行った診療内容 ・ 当該初診期間内に調査日以外に行った診療内容 ・ 調査日における診療時間、機器の準備・後片付けの時間

5. 調査検討委員会

本調査を実施するにあたり、調査設計、調査票の作成、調査の実施、集計・分析、報告書案等の検討を行うため、以下のとおり、調査検討委員会を設置・開催した。

【委員】(○は委員長、五十音順、敬称略)

稲葉 孝夫 稲葉歯科医院 院長

○ 印南 一路 慶應義塾大学総合政策学部 教授

枝広 あや子 東京都健康長寿医療センター研究所 自立促進と介護予防研究チーム

佐々木 啓一 東北大学大学院 歯学研究科長

東北大学 歯学部長

細野 純 細野歯科クリニック院長

松原 由美 早稲田大学人間科学学術院 准教授

Ⅱ. 調査の結果

1. 回収結果

発送数は1,000件であり、有効回答数は597件、有効回答率は59.7%であった。

図表 1 回収の状況

	①発送数	②回収数	③回収率 (②/①)	④有効回答数	⑤有効回答率 (④/①)
在宅歯科票	1,000	604	60.4%	597	59.7%

2. 施設調査

【調査対象等】

調査対象：全国の在宅療養支援歯科診療所の施設基準の届出をしている歯科診療所の中から無作為抽出した 1,000 施設。

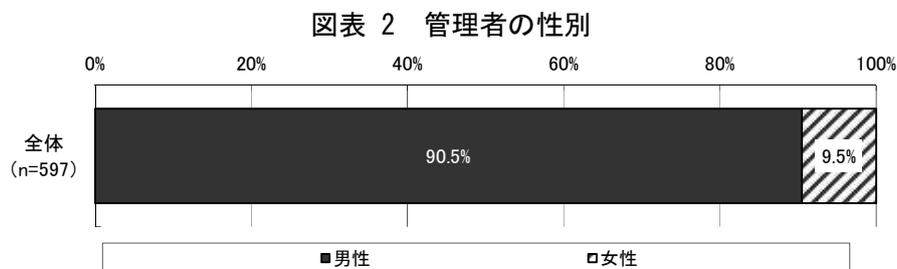
回答数：597 施設

回答者：管理者

(1) 管理者の基本属性

①性別

管理者の性別は次のとおりである。



②年齢

管理者の年齢は次のとおりである。

図表 3 管理者の年齢 (n=594)

(単位：歳)

平均値	標準偏差	中央値
56.0	10.1	56.5

(注) 年齢について記入のあった 594 施設を集計対象とした。

(2) 施設の概要

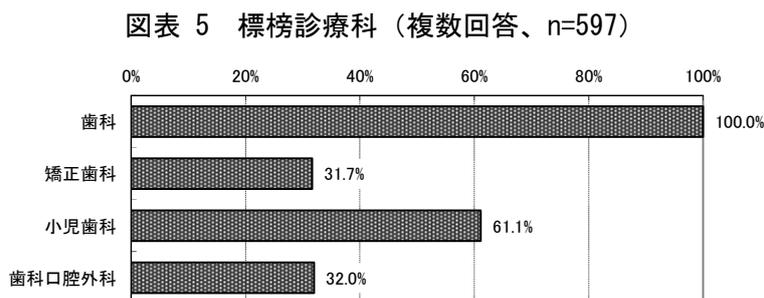
①開設主体

開設主体は次のとおりである。



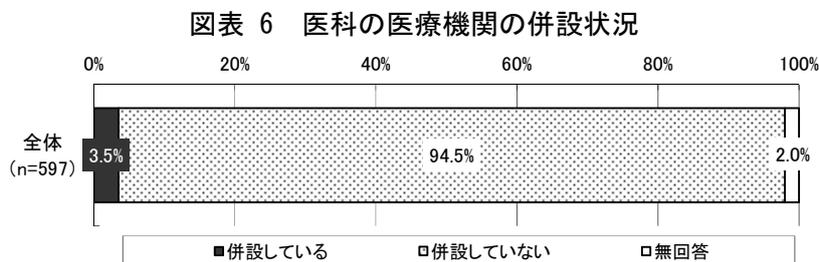
②標榜診療科

標榜診療科は次のとおりである。



③医科の医療機関の併設状況

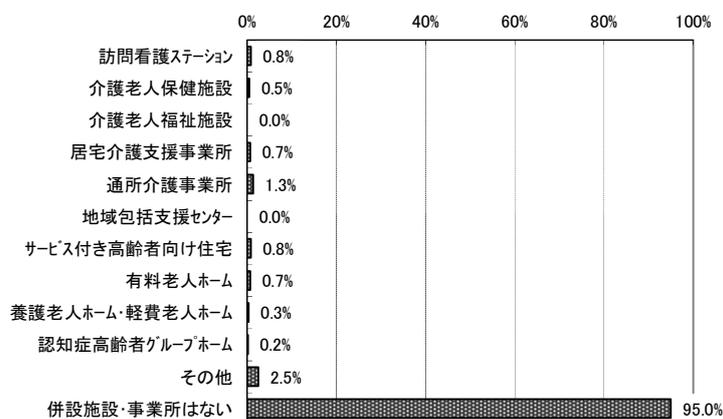
医科の医療機関の併設状況を見ると、「併設している」が3.5%、「併設していない」が94.5%であった。



④同一建物内または同一敷地内の施設・事業所

自院と同一建物内または同一敷地内の施設・事業所をみると、「併設施設・事業所はない」が95.0%であった。

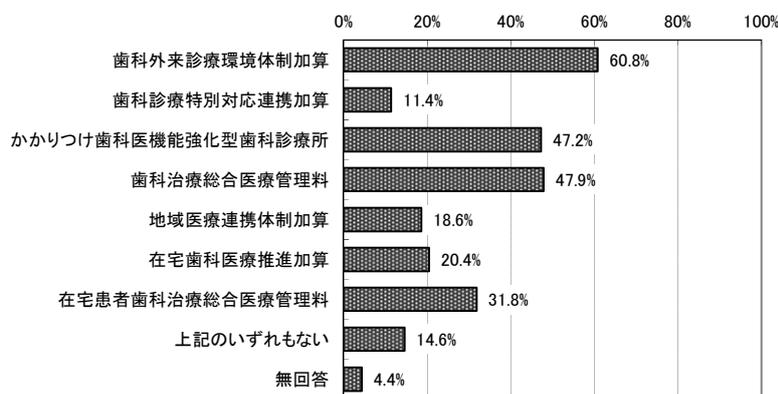
図表 7 同一建物内または同一敷地内の施設・事業所（複数回答、n=597）



⑤施設基準の届出状況

施設基準の届出状況をみると、「歯科外来診療環境体制加算」が60.8%で最も多く、次いで「歯科治療総合医療管理料」(47.9%)、「かかりつけ歯科医機能強化型歯科診療所」(47.2%)、「在宅患者歯科治療総合医療管理料」(31.8%)であった。

図表 8 施設基準の届出状況（複数回答、n=597）



⑥職員数

1 施設あたりの職員数をみると、歯科医師は常勤が平均 1.71 人、非常勤が平均 0.53 人であった。また、歯科衛生士は常勤が平均 2.04 人、非常勤が平均 0.99 人であった。

1 施設あたりの職員数合計は常勤が平均 5.66 人、非常勤が平均 2.14 人であった。

図表 9 1 施設あたりの職員数 (n=596)

(単位：人)

	常勤			非常勤(常勤換算)		
	平均値	標準偏差	中央値	平均値	標準偏差	中央値
歯科医師	1.71	3.29	1.00	0.53	1.36	0.00
看護師・准看護師	0.03	0.37	0.00	0.01	0.09	0.00
歯科衛生士	2.04	2.03	2.00	0.99	1.53	0.50
歯科技工士	0.24	0.58	0.00	0.03	0.16	0.00
管理栄養士・栄養士	0.01	0.08	0.00	0.00	0.04	0.00
言語聴覚士	0.00	0.08	0.00	0.00	0.05	0.00
その他	1.63	2.10	1.00	0.58	1.42	0.00
合計	5.66	6.03	5.00	2.14	3.34	1.00

(注) 職員数について記入のあった 596 施設を集計対象とした。

⑦医療機器等の保有台数

医療機器等の保有台数は次のとおりである。

図表 10 医療機器等の保有台数

(単位：台)

	施設数(件)	平均値	標準偏差	中央値
歯科ユニット台数	590	4.03	2.39	4.00
ポータブル歯科治療用ユニット	458	0.63	0.77	1.00
ポータブルエンジン(携帯用マイクロモーター)	567	1.29	1.12	1.00
ポータブルパキューム	477	0.79	1.01	1.00
ポータブル歯科用X線装置	445	0.47	0.67	0.00

(注) 各医療機器について記入のあった施設を集計対象とした。

図表 11 医療機器等の保有台数 (0 を除く)

(単位：台)

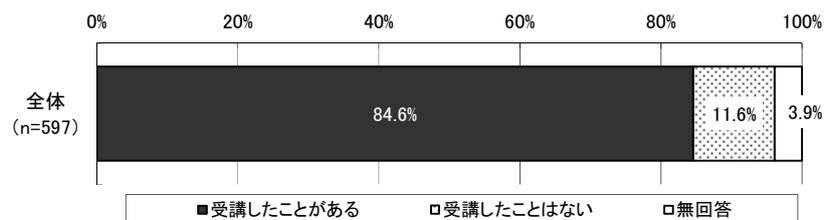
	施設数(件)	平均値	標準偏差	中央値
歯科ユニット台数	587	4.05	2.37	4.00
ポータブル歯科治療用ユニット	233	1.24	0.64	1.00
ポータブルエンジン(携帯用マイクロモーター)	538	1.36	1.11	1.00
ポータブルパキューム	290	1.30	1.02	1.00
ポータブル歯科用X線装置	184	1.15	0.55	1.00

(注) 各医療機器について「0」という回答を除いて集計対象とした。

⑧高齢者の心身の特性、口腔機能の管理及び緊急時対応等に係る研修の受講状況

在宅療養支援歯科診療所の届出様式に記載した受講済みの「高齢者の心身の特性、口腔機能の管理及び緊急時対応等に係る研修」に関して、その後における当該内容の研修（類似する内容も含む）の受講状況をみると、「受講したことがある」が84.6%、「受講したことはない」が11.6%であった。

図表 12 高齢者の心身の特性、口腔機能の管理及び緊急時対応等に係る研修の受講状況

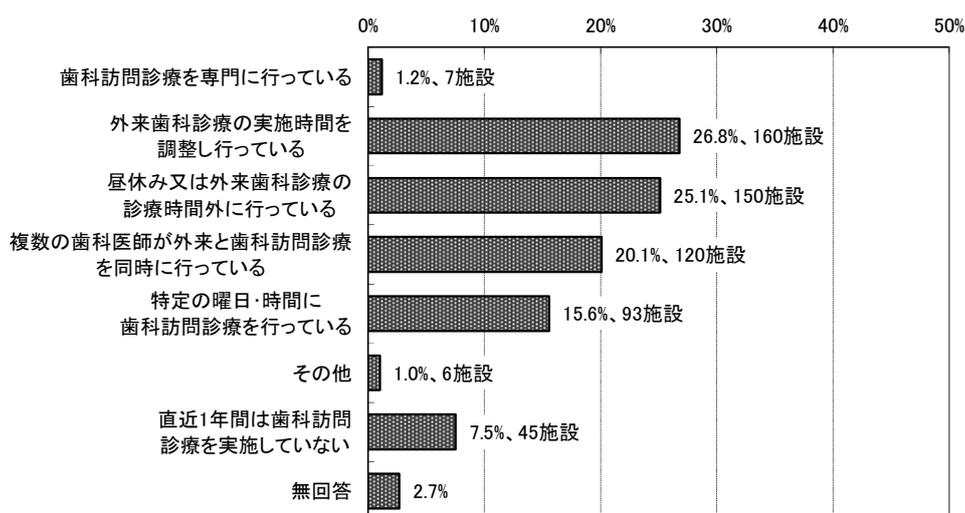


(3) 歯科訪問診療の体制等

① 歯科訪問診療の実施体制（平成 28 年 9 月）

歯科訪問診療の実施体制をみると、「外来歯科診療の実施時間を調整し（歯科訪問診療を行っている）」が 26.8%（160 施設）で最も多く、次いで「昼休み又は外来歯科診療の診療時間外に（歯科訪問診療を）行っている」が 25.1%（150 施設）、「複数の歯科医師が（いて、）外来（歯科診療）と歯科訪問診療を同時に行っている」が 20.1%（120 施設）、「特定の曜日・時間に歯科訪問診療を行っている」が 15.6%（93 施設）、「歯科訪問診療を専門に行っている（外来歯科診療は 5%未満）」（以下、「主として歯科訪問診療を実施する診療所」とする）が 1.2%（7 施設）であった。また、「直近 1 年間は歯科訪問診療を実施していない」が 7.5%（45 施設）であった。

図表 13 歯科訪問診療の実施体制（単数回答、n=597）

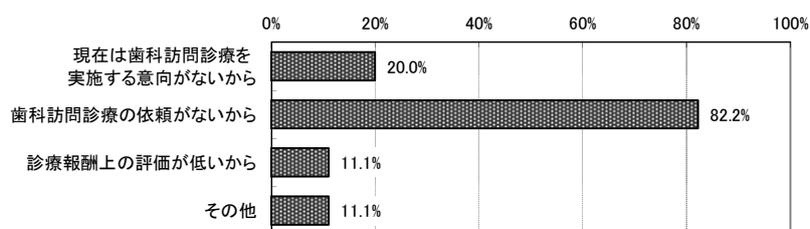


(注) 「その他」の内容として、「時間が取れた日の外来診療後と土日」、「患者の要望により外来時間内、時間外ともに行っている」等が挙げられた。

② 歯科訪問診療を実施していない理由

歯科訪問診療を実施していない施設に対して実施していない理由を尋ねたところ、「歯科訪問診療の依頼がないから」が 82.2% で最も多く、次いで「現在は歯科訪問診療を実施する意向がないから」(20.0%)、「診療報酬上の評価が低いから」(11.1%)であった。

図表 14 歯科訪問診療を実施していない理由
(歯科訪問診療を実施していない施設、複数回答、n=45)



(注)「その他」の内容として、「体力的な衰え」、「外来診療等で手一杯」等が挙げられた。

③ 歯科訪問診療等に従事した職員数

平成 28 年 9 月 1 か月間に歯科訪問診療等に従事した職員数についてみると、歯科医師は常勤が平均 1.30 人、非常勤が平均 0.29 人、歯科衛生士は常勤が平均 1.28 人、非常勤が平均 0.68 人であった。

歯科訪問診療等に従事した職員数の合計は常勤が平均 3.14 人、非常勤が平均 1.13 人であった。

図表 15 歯科訪問診療等に従事した職員数 (平成 28 年 9 月、n=437)

(単位：人)

	常勤			非常勤(常勤換算)		
	平均値	標準偏差	中央値	平均値	標準偏差	中央値
歯科医師	1.30	1.28	1.00	0.29	1.04	0.00
看護師・准看護師	0.03	0.41	0.00	0.00	0.05	0.00
歯科衛生士	1.28	1.41	1.00	0.68	1.45	0.00
歯科技工士	0.04	0.22	0.00	0.01	0.11	0.00
管理栄養士・栄養士	0.01	0.08	0.00	0.00	0.00	0.00
言語聴覚士	0.00	0.05	0.00	0.00	0.03	0.00
その他	0.48	1.57	0.00	0.15	0.99	0.00
合計	3.14	3.22	2.00	1.13	2.88	0.00

(注)・「歯科訪問診療等」とは、歯科医師による歯科訪問診療の他、歯科衛生士の訪問による口腔衛生指導なども含む(以下、同様)。

・平成 28 年 9 月 1 か月間の歯科訪問診療等の患者総数が 1 人以上で、常勤・非常勤ともに歯科訪問診療等に従事した職員数について記入のあった 437 施設を集計対象とした。

図表 16 在宅歯科医療に係る経験が 3 年以上の歯科医師数【常勤】(実人数、n=523)

(単位：人)

平均値	標準偏差	中央値
1.26	1.21	1.00

(注) 在宅歯科医療に係る経験が 3 年以上の歯科医師数について記入のあった 523 施設を集計対象とした。

④患者・家族等からの連絡（緊急時を含む）への対応体制

主として歯科訪問診療を実施する診療所（歯科訪問診療を行った患者数が95%以上）7施設における、患者・家族等からの連絡（緊急時を含む）への対応体制をみると、「診療所の受付電話で対応（受付担当者が対応）」が4施設（57.1%）、「診療所の受付電話が歯科医師に自動転送される」が2施設（28.6%）、「歯科医師の携帯電話で対応」が2施設（28.6%）であった。

図表 17 患者・家族等からの連絡（緊急時を含む）への対応体制
（主として歯科訪問診療を実施する診療所、複数回答）

	施設数(件)	構成割合
診療所の受付電話で対応(受付担当者が対応)	4	57.1%
診療所の受付電話が歯科医師に自動転送される	2	28.6%
歯科医師の携帯電話で対応	2	28.6%
コールセンターが対応	0	0.0%
その他	1	14.3%
全体	7	100.0%

⑤外来歯科診療が必要な患者について診療を依頼している歯科医療機関数

主として歯科訪問診療を実施する診療所7施設における、外来歯科診療が必要な患者について診療を依頼している歯科医療機関数別施設数は次のとおりである。

図表 18 外来歯科診療が必要な患者について診療を依頼している歯科医療機関数別施設数
（主として歯科訪問診療を実施する診療所）

	施設数(件)	構成割合
0施設	1	14.3%
1施設	1	14.3%
2施設	2	28.6%
3施設	1	14.3%
4施設	0	0.0%
5施設	1	14.3%
6施設	0	0.0%
7施設	0	0.0%
8施設	1	14.3%
全体	7	100.0%

- ⑥患者・家族等からの往診や訪問診療を求められたものの対応ができなかったことの有無
 主として歯科訪問診療を実施する診療所7施設における、患者・家族等からの往診や訪問診療を求められたものの対応ができなかったことの有無をみると、「ある」が2施設(28.6%)、「ない」が5施設(71.4%)であった。

図表 19 往診や訪問診療を求められたものの対応ができなかったことの有無
 (主として歯科訪問診療を実施する診療所)

	施設数(件)	構成割合
ある	2	28.6%
ない	5	71.4%
全体	7	100.0%

(4) 歯科訪問診療を提供した患者数等

① 歯科外来患者数

歯科外来患者数は次のとおりである。

図表 20 歯科外来患者数（歯科訪問診療等を行っている施設）(n=435)

(単位：人)

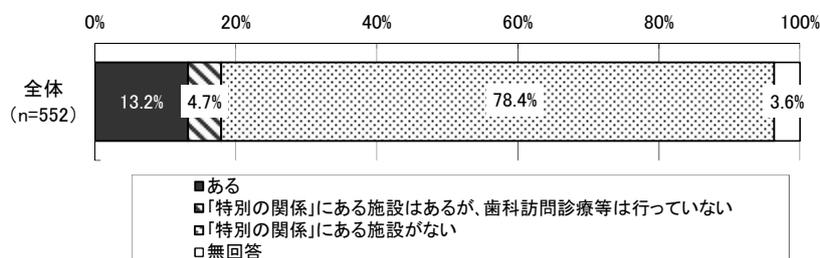
	平成27年9月			平成28年9月		
	平均値	標準偏差	中央値	平均値	標準偏差	中央値
歯科外来患者総数(延べ人数)	616.2	434.2	523.0	627.5	447.5	544.0
歯科外来患者数(実人数)	346.3	275.8	281.0	346.3	267.8	284.0

(注) 歯科外来患者総数、歯科外来患者数について、平成27年9月及び平成28年9月ともに記入のあった435施設をそれぞれ集計対象とした。

② 「特別の関係」にある病院又は施設等への歯科訪問診療等の有無

「特別の関係」にある病院又は施設等への歯科訪問診療等の有無をみると、「ある」が13.2%、「『特別の関係』にある施設はあるが、歯科訪問診療等を行っていない」が4.7%、「『特別の関係』にある施設がない」が78.4%であった。

図表 21 「特別の関係」にある病院又は施設等への歯科訪問診療等の有無
(歯科訪問診療等を行っている施設)



(注) 歯科訪問診療等を行っている552施設を集計対象とした。

③ 平成28年9月1か月間における、歯科訪問診療等を行った延べ日数

平成28年9月1か月間における、歯科医師が歯科訪問診療を行った延べ日数（歯科訪問診療を実施した延べ日数）は平均13.9日（中央値5.0）であった。

図表 22 歯科医師が歯科訪問診療を行った延べ日数
(歯科訪問診療を行っている施設、n=533)

(単位：日)

平均値	標準偏差	中央値
13.9	38.7	5.0

(注) 歯科訪問診療等を行っている施設のうち、延べ日数について記入のあった533施設を集計対象とした。

平成 28 年 9 月 1 か月間における、歯科医師の指示のもとに、歯科衛生士が訪問歯科衛生指導（居宅療養管理指導を含む）を実施した延べ日数は平均 6.3 日であった。

図表 23 歯科医師の指示のもとに、歯科衛生士が訪問歯科衛生指導（居宅療養管理指導を含む）を実施した延べ日数
（歯科訪問診療を行っている施設、n=540）

（単位：日）

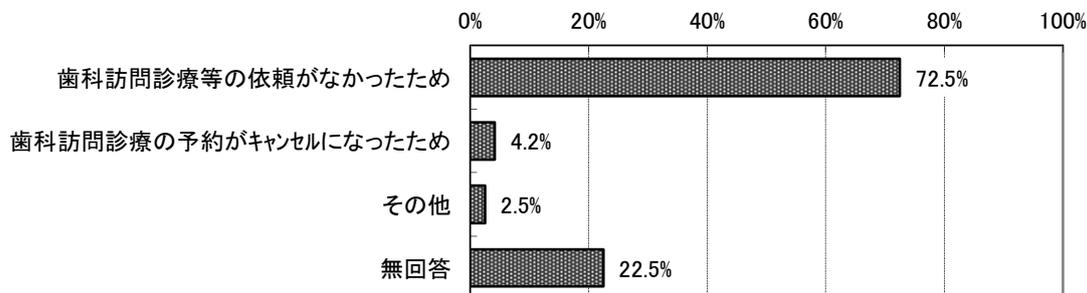
平均値	標準偏差	中央値
6.3	25.2	0.0

（注）歯科訪問診療等を行っている施設のうち、歯科医師の指示のもとに歯科衛生士が訪問歯科衛生指導を行っている 540 施設を集計対象とした。

④平成 28 年 9 月 1 か月間の歯科訪問診療等の実績がなかった理由

平成 28 年 9 月 1 か月間の歯科訪問診療等の実績がなかった理由をみると、「歯科訪問診療等の依頼がなかったため」が 72.5%、「歯科訪問診療の予約がキャンセルになったため」が 4.2%であった。

図表 24 平成 28 年 9 月 1 か月間の歯科訪問診療等の実績がなかった理由
（歯科訪問診療等の実績がなかった施設、複数回答、n=120）



⑤平成 28 年 9 月 1 か月間の歯科訪問診療等を行った患者数

平成 28 年 9 月 1 か月間の歯科訪問診療等の実績は次のとおりである。

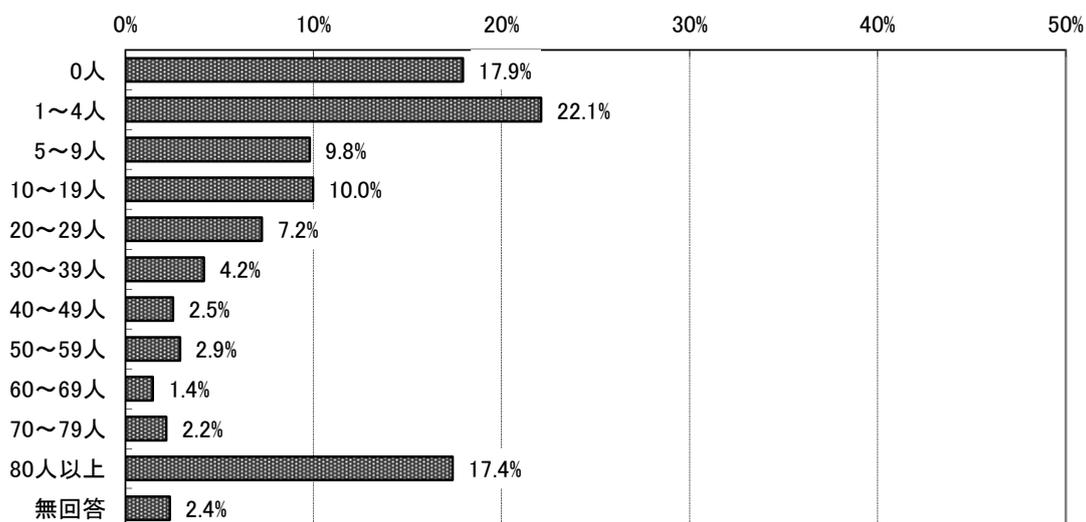
図表 25 平成 28 年 9 月 1 か月間の歯科訪問診療等の実績
(歯科訪問診療を行っている施設)

(単位：人)

	施設数(件)	平均値	標準偏差	中央値
歯科訪問診療等の患者総数(延べ人数)	539	78.2	244.1	9.0
歯科医師が歯科訪問診療を行った患者の実人数	541	34.8	98.4	5.0
歯科医師が居宅療養管理指導を行った患者の実人数	538	13.9	39.4	1.0
歯科医師の指示のもと、歯科衛生士のみで訪問し、訪問歯科衛生指導を実施した患者の実人数	546	7.1	32.7	0.0
「在宅患者訪問口腔リハビリテーション指導管理料」を算定した患者の実人数	543	1.2	6.4	0.0

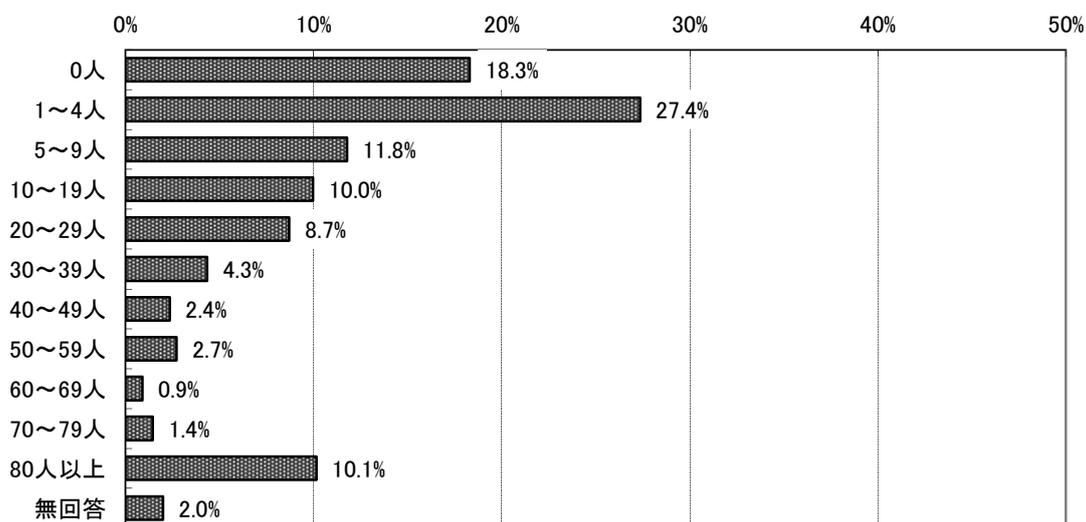
平成 28 年 9 月 1 か月間の歯科訪問診療等の患者総数(延べ人数)別分布をみると、「1～4人」が 22.1%、「0人」が 17.9%、「5～9人」が 9.8%であった。10人未満が 5割近くを占める一方で、「80人以上」の施設が 2割近くあった。

図表 26 平成 28 年 9 月 1 か月間の歯科訪問診療等の患者総数(延べ人数)別分布
(歯科訪問診療を行っている施設、n=552)



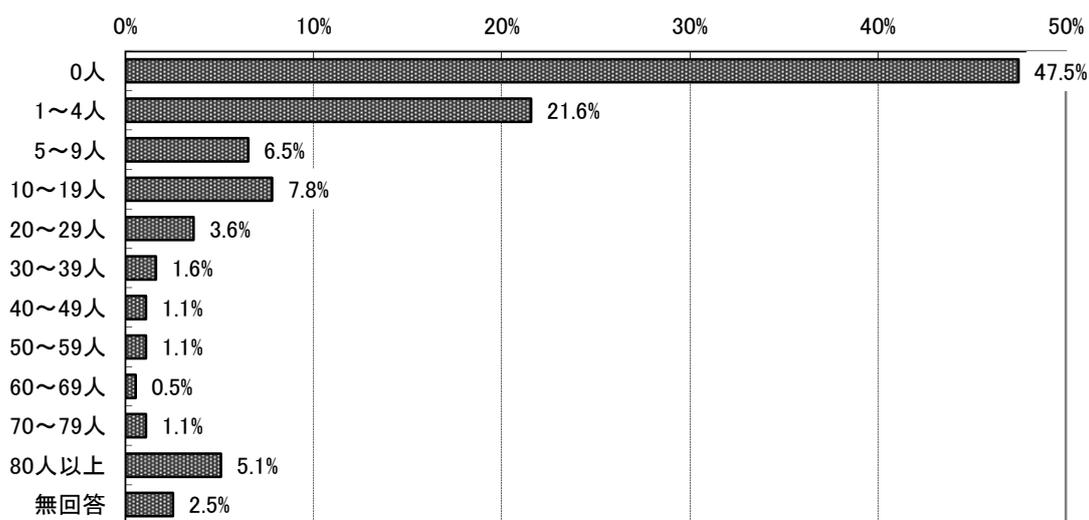
平成28年9月1か月間に歯科医師が歯科訪問診療を行った患者の実人数別分布をみると、「1～4人」が27.4%、「0人」が18.3%であった。一方、「80人以上」が10.1%であった。

図表 27 平成28年9月1か月間に歯科医師が歯科訪問診療を行った患者の実人数別分布
(歯科訪問診療を行っている施設、n=552)



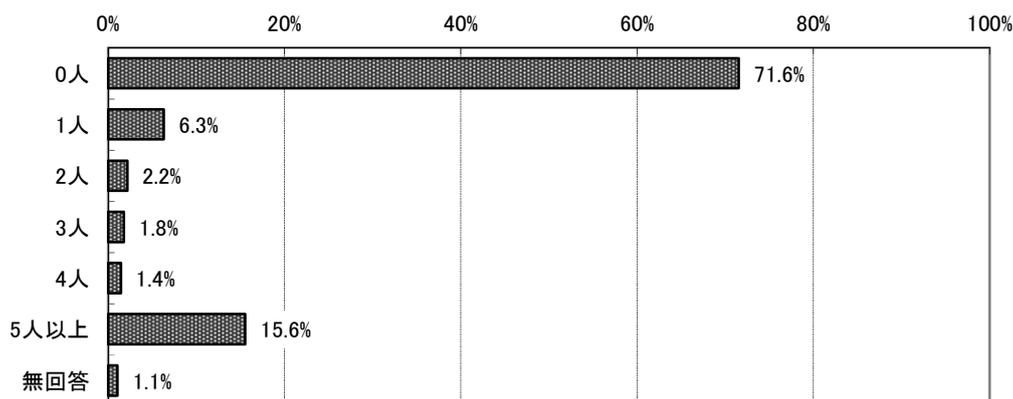
平成28年9月1か月間に歯科医師が居宅療養管理指導を行った患者の実人数別分布をみると、「0人」が47.5%で最も多く、次いで「1～4人」(21.6%)であった。

図表 28 平成28年9月1か月間に歯科医師が居宅療養管理指導を行った患者の実人数別分布
(歯科訪問診療を行っている施設、n=552)



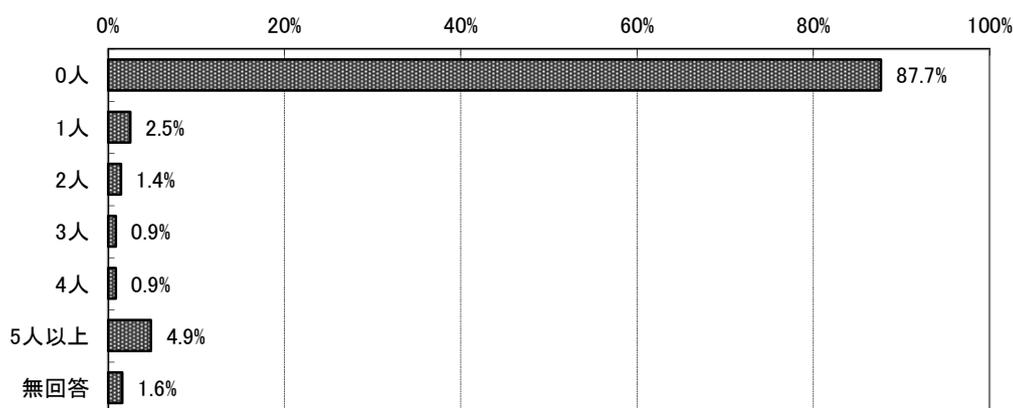
平成 28 年 9 月 1 か月間に、歯科医師の指示のもと、歯科衛生士のみで訪問し、訪問歯科衛生指導を実施した患者の実人数別分布をみると、「0 人」が 71.6%で最も多かった。また、「1 人」が 6.3%、「2 人」が 2.2%、「3 人」が 1.8%、「4 人」が 1.4%、「5 人以上」が 15.6%であった。

図表 29 平成 28 年 9 月 1 か月間に、歯科医師の指示のもと、歯科衛生士のみで訪問し、訪問歯科衛生指導を実施した患者の実人数別分布
(歯科訪問診療を行っている施設、n=552)



平成 28 年 9 月 1 か月間に、「在宅患者訪問口腔リハビリテーション指導管理料」を算定した患者の実人数別分布をみると、「0 人」が 87.7%で最も多かった。また、「1 人」が 2.5%、「2 人」が 1.4%、「3 人」、「4 人」がともに 0.9%、「5 人以上」が 4.9%であった。

図表 30 平成 28 年 9 月 1 か月間に、「在宅患者訪問口腔リハビリテーション指導管理料」を算定した患者の実人数別分布
(歯科訪問診療を行っている施設、n=552)



⑥平成 28 年 9 月 1 か月間の歯科訪問診療の算定回数

平成 28 年 9 月 1 か月間の歯科訪問診療の算定回数は次のとおりである。各算定回数の平均は、歯科訪問診療 1 が 12.1 回、歯科訪問診療 2 が 19.0 回、歯科訪問診療 3 が 17.4 回であった。また、歯科訪問診療 1 のうち、「著しく歯科診療が困難な者」または「要介護 3 以上」に準じる状態により、20 分以上の診療が困難であった回数は平均 1.5 回であった。同様に、歯科訪問診療 3 の内訳をみると、20 分未満の歯科訪問診療が平均 16.0 回、同一建物で 10 人以上の患者の歯科訪問診療が 14.5 回、20 分未満かつ同一建物で 10 人以上の歯科訪問診療が 13.1 回であった。

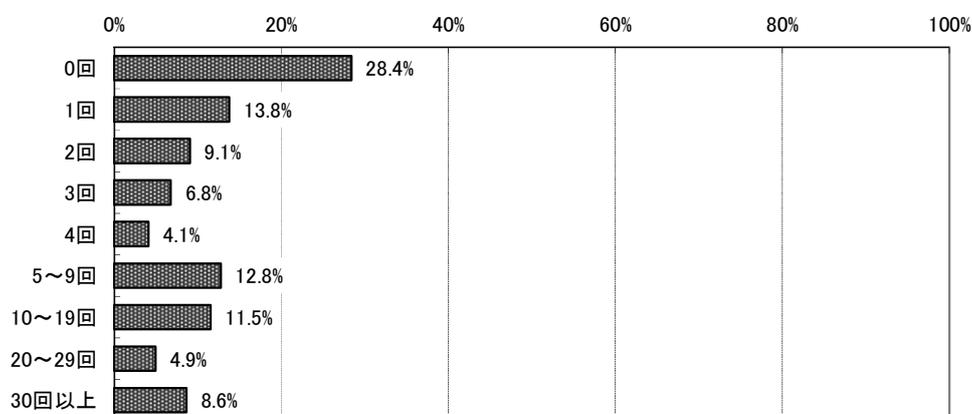
図表 31 平成 28 年 9 月 1 か月間の歯科訪問診療の算定回数 (n=486)

(単位：回)

	平均値	標準偏差	中央値
歯科訪問診療1	12.1	35.1	2.0
(うち)「著しく歯科診療が困難な者」または「要介護3以上」に準じる状態により、20分以上の診療が困難であった回数	1.5	10.2	0.0
歯科訪問診療2	19.0	89.1	0.0
歯科訪問診療3	17.4	130.8	0.0
(うち)20分未満の歯科訪問診療の算定回数	16.0	130.0	0.0
(うち)同一建物で10人以上の患者の歯科訪問診療の算定回数	14.5	126.5	0.0
(うち)20分未満かつ同一建物で10人以上の歯科訪問診療の算定回数	13.1	125.7	0.0

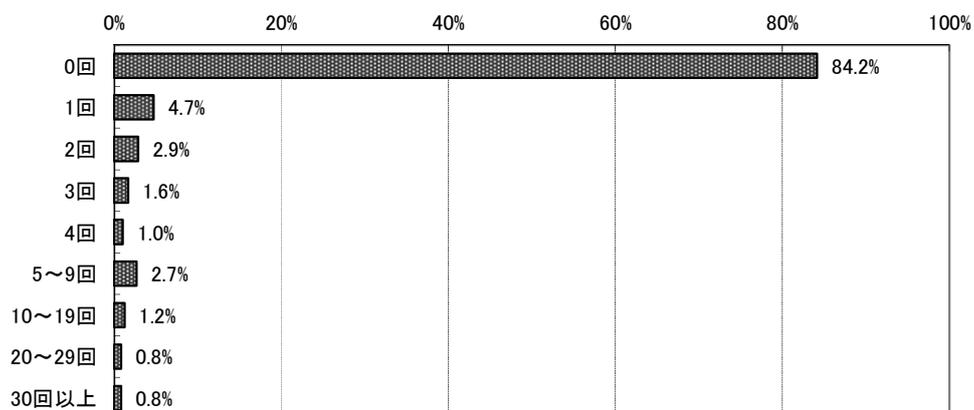
(注) すべての算定回数について記入のあった施設を集計対象とした。

図表 32 歯科訪問診療 1 の算定回数別分布 (n=486)



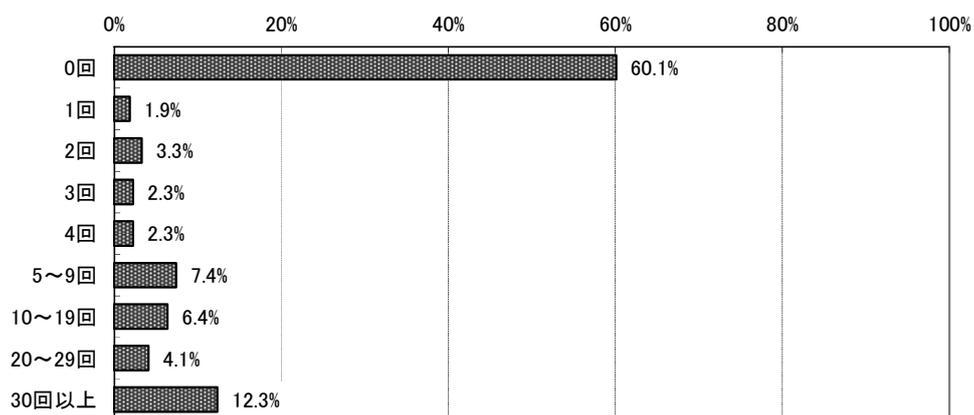
(注) 平成 28 年 9 月 1 か月間の算定回数について記入のあった施設を集計対象とした。

図表 33 歯科訪問診療1のうち20分以上の診療が困難であった回数別分布 (n=486)



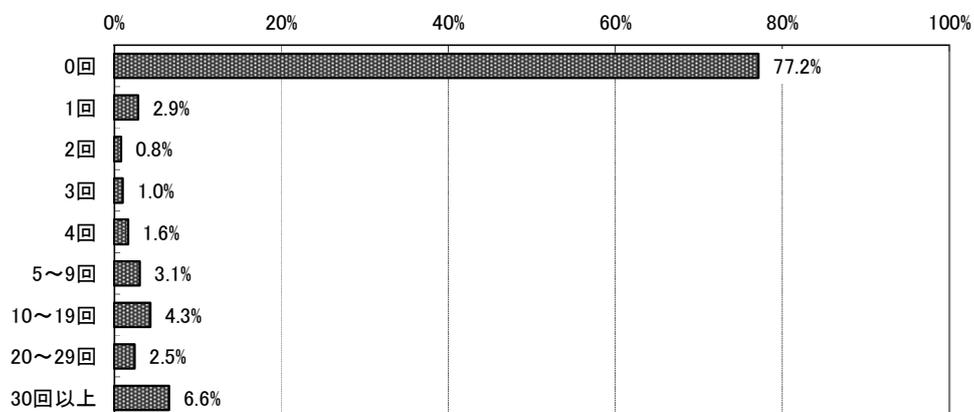
(注) 平成28年9月1か月間の算定回数について記入のあった施設を集計対象とした。

図表 34 歯科訪問診療2の算定回数別分布 (n=486)



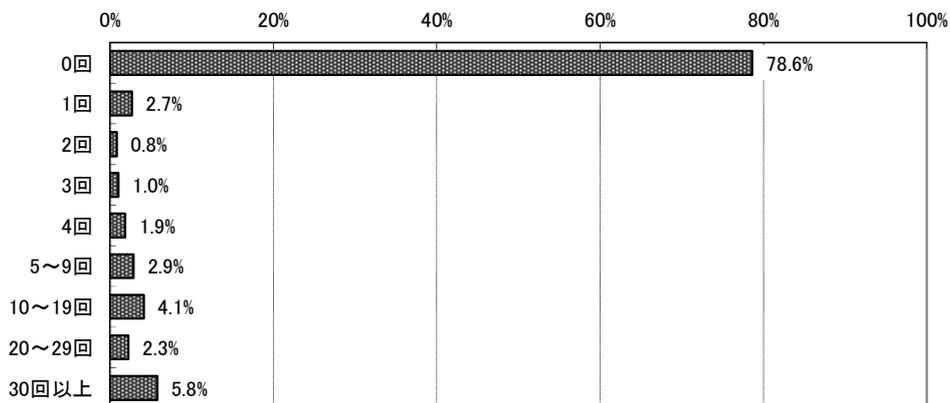
(注) 平成28年9月1か月間の算定回数について記入のあった施設を集計対象とした。

図表 35 歯科訪問診療3の算定回数別分布 (n=486)



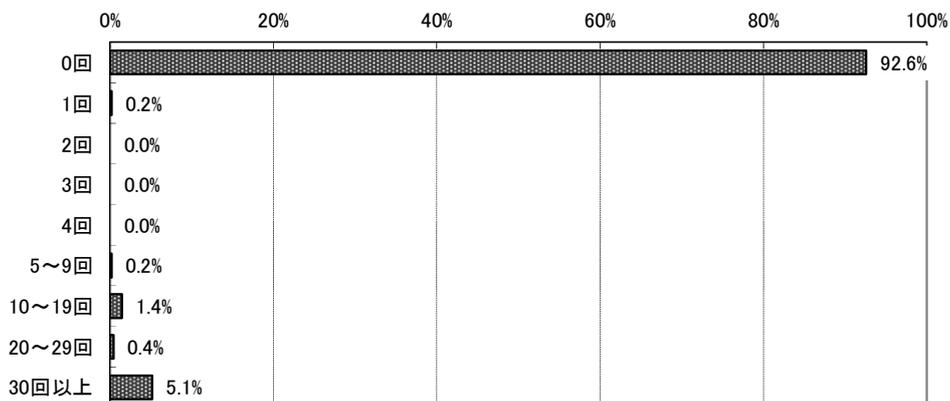
(注) 平成28年9月1か月間の算定回数について記入のあった施設を集計対象とした。

図表 36 歯科訪問診療 3 のうち、20 分未満の歯科訪問診療の算定回数別分布 (n=486)



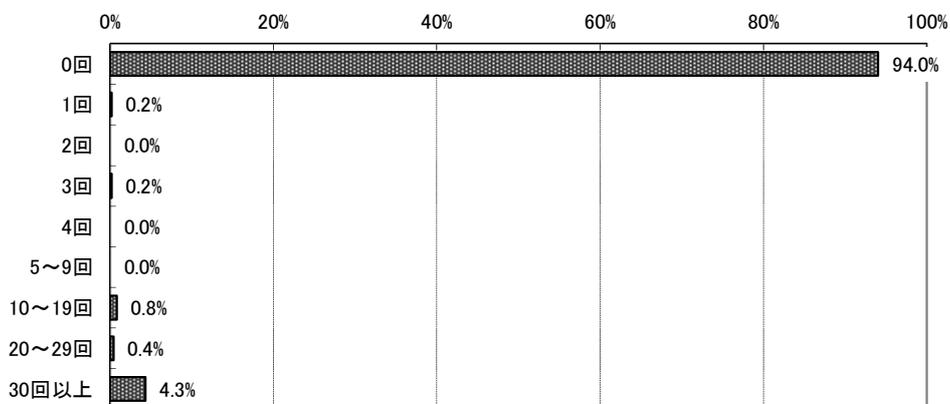
(注) 平成 28 年 9 月 1 か月間の算定回数について記入のあった施設を集計対象とした。

図表 37 歯科訪問診療 3 のうち、同一建物で 10 人以上の患者の歯科訪問診療の算定回数別分布 (n=486)



(注) 平成 28 年 9 月 1 か月間の算定回数について記入のあった施設を集計対象とした。

図表 38 歯科訪問診療 3 のうち、20 分未満かつ、同一建物で 10 人以上の患者の歯科訪問診療の算定回数別分布 (n=486)



(注) 平成 28 年 9 月 1 か月間の算定回数について記入のあった施設を集計対象とした。

⑦平成 28 年 9 月 1 か月間の居宅療養管理指導費の算定回数

平成 28 年 9 月 1 か月間の居宅療養管理指導費の算定回数は次のとおりである。

図表 39 平成 28 年 9 月 1 か月間の居宅療養管理指導費の算定回数

(単位：回)

	施設数(件)	平均値	標準偏差	中央値
居宅療養管理指導費(歯科医師)	483	13.1	52.9	0.0
居宅療養管理指導費(歯科衛生士等)	469	18.2	81.8	0.0

(注) 平成 28 年 9 月 1 か月間の居宅療養管理指導費の算定回数について、それぞれ記入のあった施設を集計対象とした。

図表 40 平成 28 年 9 月 1 か月間の居宅療養管理指導費の算定回数 (0 除く)

(単位：回)

	施設数(件)	平均値	標準偏差	中央値
居宅療養管理指導費(歯科医師)	202	31.4	78.4	6.0
居宅療養管理指導費(歯科衛生士等)	164	52.1	132.0	9.0

(注) 平成 28 年 9 月 1 か月間の居宅療養管理指導費の算定回数について、「0」という回答の施設を除いてそれぞれ集計対象とした。

⑧平成 28 年 9 月 1 か月間に歯科医師が訪問した建物の数

平成 28 年 9 月 1 か月間に歯科医師が訪問した建物の数は次のとおりである。

図表 41 平成 28 年 9 月 1 か月間に歯科医師が訪問した建物の数 (n=522)

(単位：か所)

	平均値	標準偏差	中央値
歯科訪問診療で歯科医師が訪問した建物の数	8.6	22.2	2.0
(うち) 自宅	5.5	18.4	1.0
(うち) 居住系施設	1.4	3.3	0.0
(うち) 介護老人保健施設	0.5	1.5	0.0
(うち) 介護老人福祉施設	0.5	1.3	0.0
(うち) 病院	0.5	1.0	0.0
(うち) その他	0.2	0.8	0.0

(注) ・マンションなどの集合住宅の場合、「棟」単位とした。

- ・「自宅」とは、施設以外で、戸建て(持家・借家問わず)、団地・マンション等の集合住宅を指す。
- ・「居住系施設」とは、自宅及び介護老人保健施設・介護老人福祉施設以外の居住先で、有料老人ホーム、軽費老人ホーム、サ高住、認知症グループホーム等が該当する。
- ・記入のあった 522 施設を集計対象とした。

図表 42 平成 28 年 9 月 1 か月間に歯科医師が訪問した建物の数 (0 を除く)

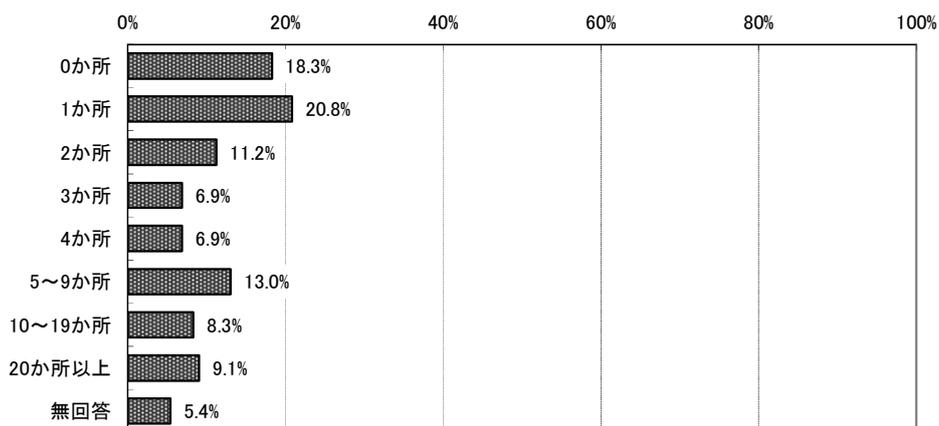
(単位：か所)

	施設数(件)	平均値	標準偏差	中央値
歯科訪問診療で歯科医師が訪問した建物数	421	10.7	24.3	3.0
(うち)自宅	295	9.8	23.6	2.0
(うち)居住系施設	210	3.6	4.4	2.0
(うち)介護老人保健施設	140	1.8	2.6	1.0
(うち)介護老人福祉施設	141	2.0	1.8	1.0
(うち)病院	150	1.6	1.2	1.0
(うち)その他	34	2.4	1.8	2.0

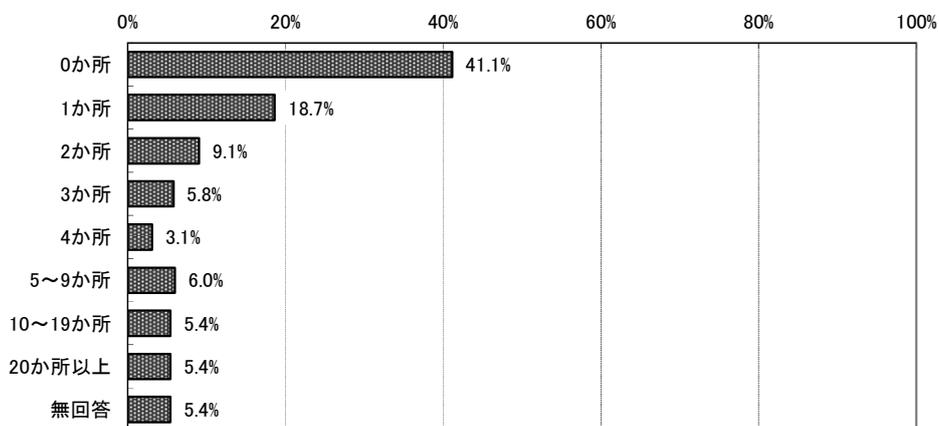
(注)・マンションなどの集合住宅の場合、「棟」単位とした。

- ・「自宅」とは、施設以外で、戸建て（持家・借家問わず）、団地・マンション等の集合住宅を指す。
- ・「居住系施設」とは、自宅及び介護老人保健施設・介護老人福祉施設以外の居住先で、有料老人ホーム、軽費老人ホーム、サ高住、認知症グループホーム等が該当する。
- ・平成 28 年 9 月 1 か月間に歯科医師が訪問した建物数について、「0」という回答の施設を除いてそれぞれ集計対象とした。

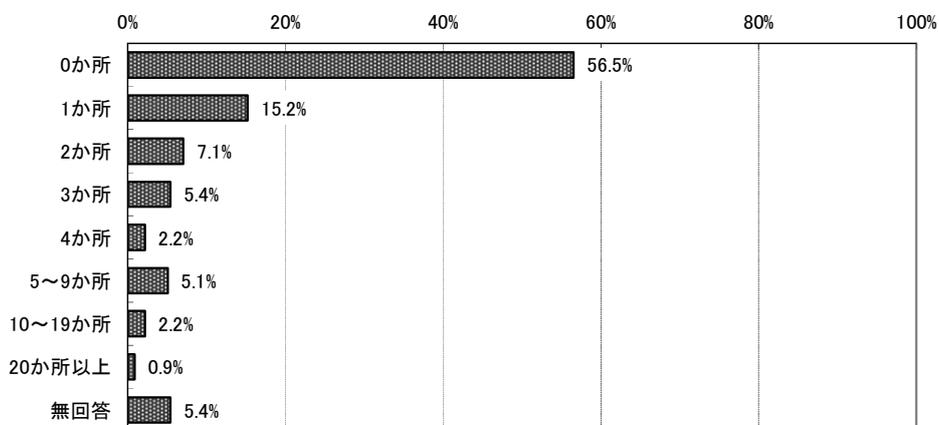
図表 43 平成 28 年 9 月 1 か月間に歯科医師が訪問した建物数別分布 (n=552)



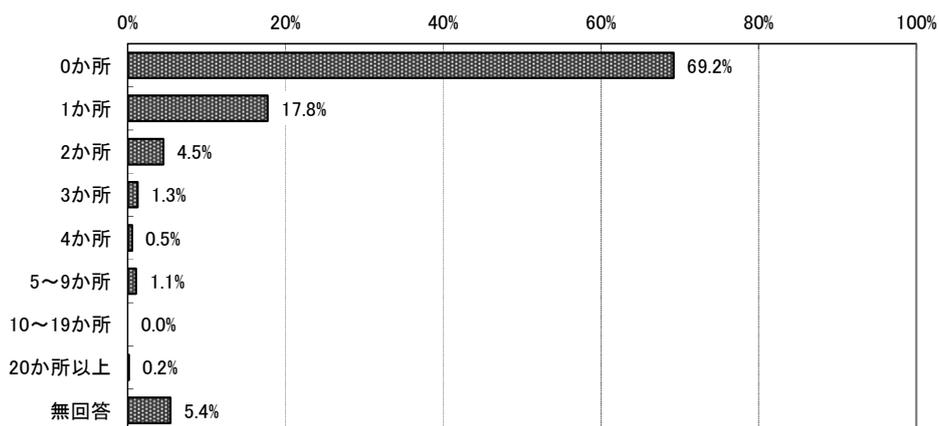
図表 44 平成 28 年 9 月 1 か月間に歯科医師が訪問した建物<自宅>の数別分布 (n=552)



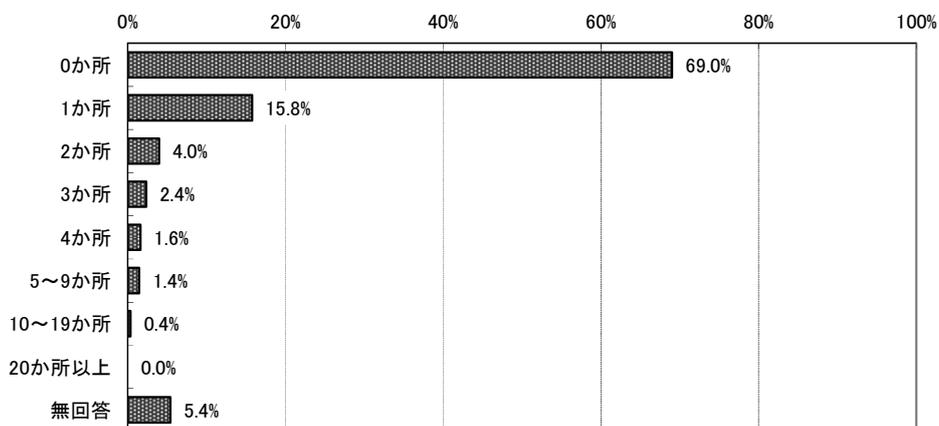
図表 45 平成 28 年 9 月 1 か月間に歯科医師が訪問した建物<居住系施設>の数別分布 (n=552)



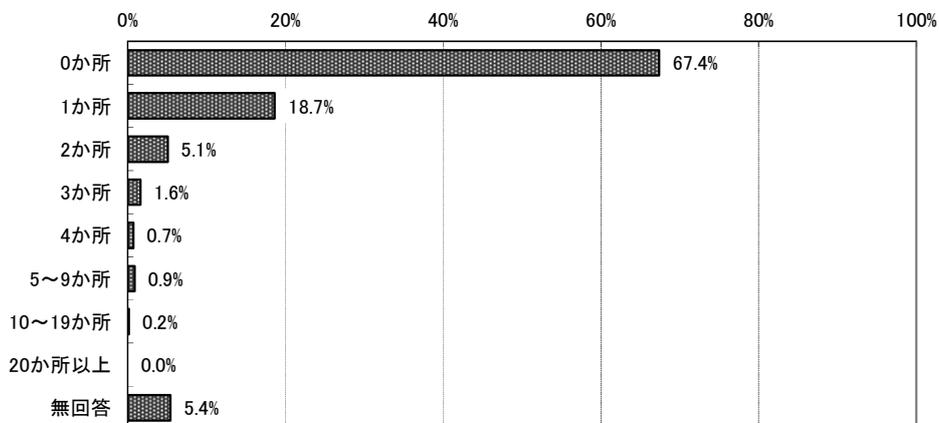
図表 46 平成 28 年 9 月 1 か月間に歯科医師が訪問した建物<介護老人保健施設>の数別分布 (n=552)



図表 47 平成 28 年 9 月 1 か月間に歯科医師が訪問した建物<介護老人福祉施設>の数別分布 (n=552)



図表 48 平成 28 年 9 月 1 か月間に歯科医師が訪問した建物<病院>の数別分布 (n=552)



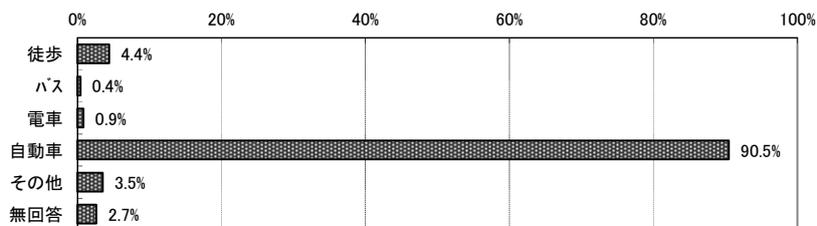
⑨平成 28 年 9 月 1 か月間に歯科医師が歯科訪問診療を行った患者の居場所等

平成 28 年 9 月 1 か月間に歯科医師が歯科訪問診療を行った患者の居場所等は次のとおりである。

1) 最も遠くに住む患者

図表 49 患者に訪問するのに用いる交通手段 (複数回答、n=451)

～最も遠くに住む患者～



図表 50 患者までの移動に要する総時間 (往復) (n=438)

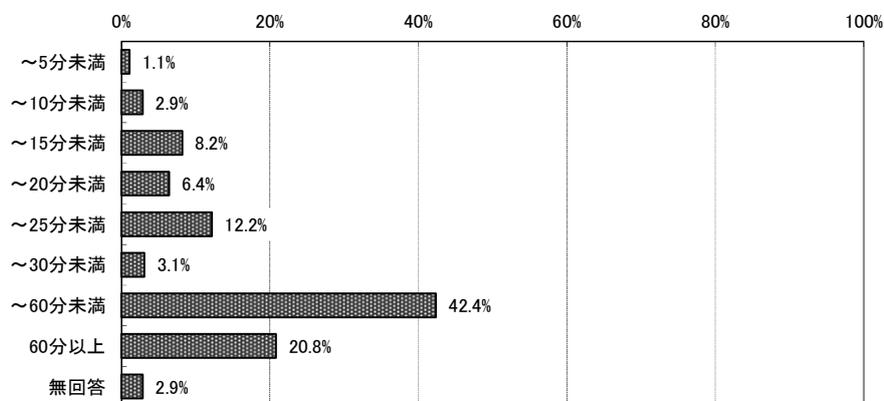
～最も遠くに住む患者～

(単位：分)

平均値	標準偏差	中央値
38.8	25.5	34.5

(注) 患者までの移動に要する総時間について記入のあった 438 施設を集計の対象とした。

図表 51 患者までの移動に要する総時間（往復）別分布（n=451）
～最も遠くに住む患者～



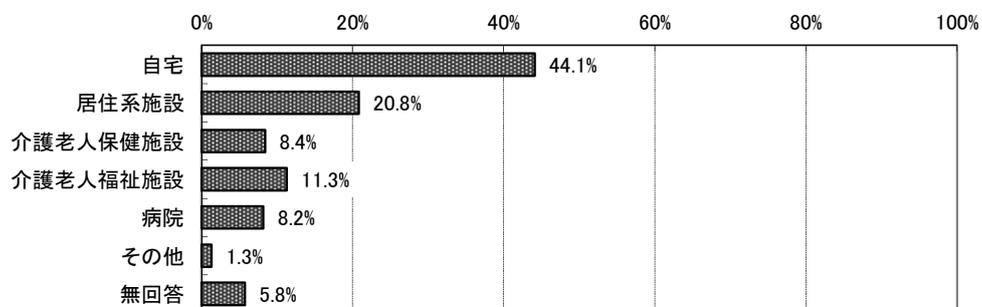
図表 52 当該患者の「単一建物診療患者数」（n=369）
～最も遠くに住む患者～

（単位：人）

平均値	標準偏差	中央値
3.4	8.6	1.0

（注）当該患者の「単一建物診療患者数」について記入のあった 369 施設を集計の対象とした。

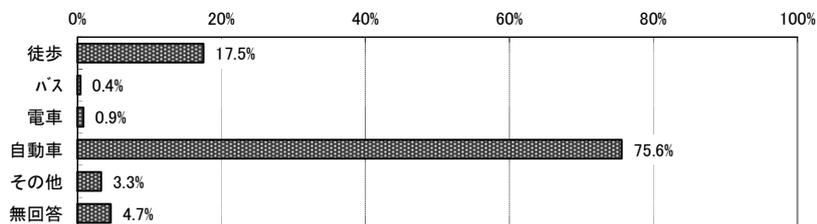
図表 53 住居形態（単数回答、n=451）～最も遠くに住む患者～



2) 最も近くに住む患者

図表 54 患家に訪問するのに用いる交通手段（複数回答、n=451）

～最も近くに住む患者～



図表 55 患家までの移動に要する総時間（往復）（n=427）

～最も近くに住む患者～

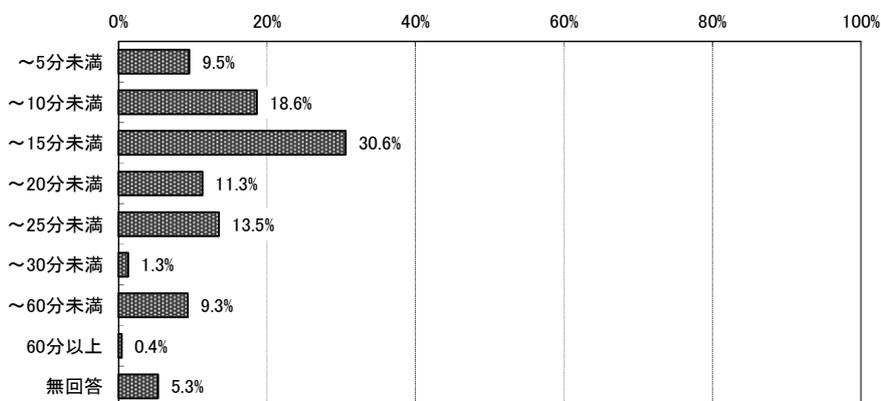
（単位：分）

平均値	標準偏差	中央値
13.5	10.1	10.0

（注）患家までの移動に要する総時間について記入のあった 427 施設を集計の対象とした。

図表 56 患家までの移動に要する総時間（往復）別分布（n=451）

～最も近くに住む患者～



図表 57 当該患家の「単一建物診療患者数」（n=362）

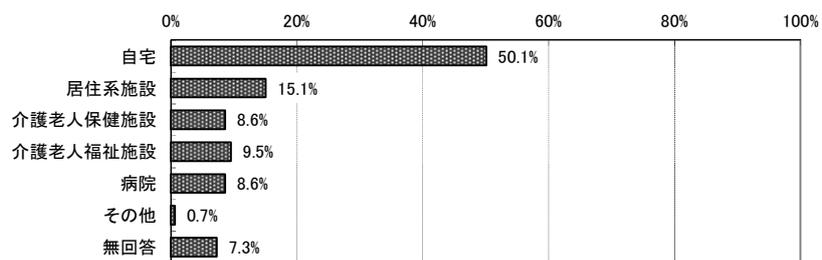
～最も近くに住む患者～

（単位：人）

平均値	標準偏差	中央値
3.0	7.4	1.0

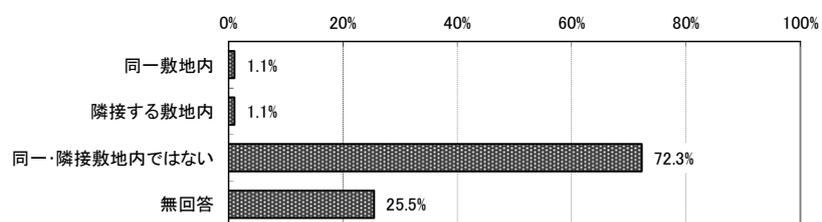
（注）当該患家の「単一建物診療患者数」について記入のあった 362 施設を集計の対象とした。

図表 58 住居形態（単数回答、n=451）～最も近くに住む患者～



図表 59 自院と患家との位置関係（単数回答、n=451）

～最も近くに住む患者～



⑩主として歯科訪問診療を実施する診療所における歯科訪問診療等の実績

図表 60 平成 28 年 9 月 1 か月間の歯科訪問診療等の実績
(主として歯科訪問診療を実施する診療所)

(単位：人)

	施設数(件)	平均値	標準偏差	中央値
歯科訪問診療等の患者総数(延べ人数)	6	228.8	166.8	176.5
歯科医師が歯科訪問診療を行った患者の実人数	6	125.3	66.4	125.0
歯科医師が居宅療養管理指導を行った患者の実人数	6	85.2	59.8	125.0
歯科医師の指示のもと、歯科衛生士のみで訪問し、訪問歯科衛生指導を実施した患者の実人数	6	80.2	90.4	56.0
「在宅患者訪問口腔リハビリテーション指導管理料」を算定した患者の実人数	6	1.0	2.4	0.0

図表 61 平成 28 年 9 月 1 か月間の歯科訪問診療等の患者総数(延べ人数)別分布
(主として歯科訪問診療を実施する診療所)

	施設数(件)	構成割合
0～49人	0	0.0
50～99人	1	14.3
100～149人	1	14.3
150～199人	1	14.3
200～249人	1	14.3
250～299人	0	0.0
300～349人	0	0.0
350～399人	1	14.3
400人以上	1	14.3
無回答	1	14.3
全体	7	100.0

図表 62 平成 28 年 9 月 1 か月間に歯科医師が歯科訪問診療を行った患者の実人数別分布
(主として歯科訪問診療を実施する診療所)

	施設数(件)	構成割合
0～49人	0	0.0
50～99人	3	42.9
100～149人	0	0.0
150～199人	2	28.6
200～249人	1	14.3
250～299人	0	0.0
300人以上	0	0.0
無回答	1	14.3
全体	7	100.0

図表 63 平成 28 年 9 月 1 か月間に歯科医師が居宅療養管理指導を行った患者の実人数別分布（主として歯科訪問診療を実施する診療所）

	施設数(件)	構成割合
0～49人	1	14.3
50～99人	3	42.9
100～149人	1	14.3
150～199人	1	14.3
200人以上	0	0.0
無回答	1	14.3
全体	7	100.0

図表 64 平成 28 年 9 月 1 か月間に、歯科医師の指示のもと、歯科衛生士のみで訪問し、訪問歯科衛生指導を実施した患者の実人数別分布(主として歯科訪問診療を実施する診療所)

	施設数(件)	構成割合
0人	2	28.6
1人	0	0.0
2人	0	0.0
3人	0	0.0
4人	0	0.0
5人以上	4	57.1
無回答	1	14.3
全体	7	100.0

図表 65 平成 28 年 9 月 1 か月間に、「在宅患者訪問口腔リハビリテーション指導管理料」を算定した患者の実人数別分布（主として歯科訪問診療を実施する診療所）

	施設数(件)	構成割合
0人	5	71.4
1人	0	0.0
2人	0	0.0
3人	0	0.0
4人	0	0.0
5人以上	1	14.3
無回答	1	14.3
全体	7	100.0

図表 66 歯科訪問診療1の算定回数別分布（平成28年9月1か月間）

（主として歯科訪問診療を実施する診療所）

	歯科訪問診療1		（うち）20分以上の診療が困難であった回数別分布	
	施設数(件)	構成割合	施設数(件)	構成割合
0回	1	14.3%	3	42.9%
1回	0	0.0%	0	0.0%
2回	0	0.0%	0	0.0%
3回	0	0.0%	0	0.0%
4回	0	0.0%	0	0.0%
5～9回	0	0.0%	0	0.0%
10～19回	1	14.3%	1	14.3%
20～29回	0	0.0%	0	0.0%
30回以上	3	42.9%	0	0.0%
無回答	2	28.6%	3	42.9%
全体	7	100.0%	7	100.0%

図表 67 歯科訪問診療2の算定回数別分布（平成28年9月1か月間）

（主として歯科訪問診療を実施する診療所）

	施設数(件)	構成割合
0回	0	0.0%
1回	0	0.0%
2回	0	0.0%
3回	0	0.0%
4回	0	0.0%
5～9回	2	28.6%
10～19回	0	0.0%
20～29回	0	0.0%
30回以上	3	42.9%
無回答	2	28.6%
全体	7	100.0%

図表 68 歯科訪問診療3の算定回数別分布（平成28年9月1か月間）

（主として歯科訪問診療を実施する診療所）

	歯科訪問診療3		（うち）20分未満の歯科訪問診療の算定回数別分布		（うち）同一建物で10人以上の患者の歯科訪問診療の算定回数別分布		（うち）20分未満かつ、同一建物で10人以上の患者の歯科訪問診療の算定回数別分布	
	施設数(件)	構成割合	施設数(件)	構成割合	施設数(件)	構成割合	施設数(件)	構成割合
0回	1	14.3%	1	14.3%	3	42.9%	3	42.9%
1回	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
2回	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
3回	1	14.3%	1	14.3%	0	0.0%	0	0.0%
4回	1	14.3%	1	14.3%	0	0.0%	0	0.0%
5～9回	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
10～19回	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
20～29回	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
30回以上	2	28.6%	2	28.6%	2	28.6%	2	28.6%
無回答	2	28.6%	2	28.6%	2	28.6%	2	28.6%
全体	7	100.0%	7	100.0%	7	100.0%	7	100.0%

図表 69 平成 28 年 9 月 1 か月間に歯科医師が訪問した建物の数別分布
(主として歯科訪問診療を実施する診療所)

	施設数(件)	構成割合
0か所	0	0.0%
1か所	0	0.0%
2か所	0	0.0%
3か所	0	0.0%
4か所	0	0.0%
5～9か所	1	14.3%
10～19か所	1	14.3%
20か所以上	3	42.9%
無回答	2	28.6%
全体	7	100.0%

図表 70 平成 28 年 9 月 1 か月間に歯科医師が訪問した建物内訳
(主として歯科訪問診療を実施する診療所)

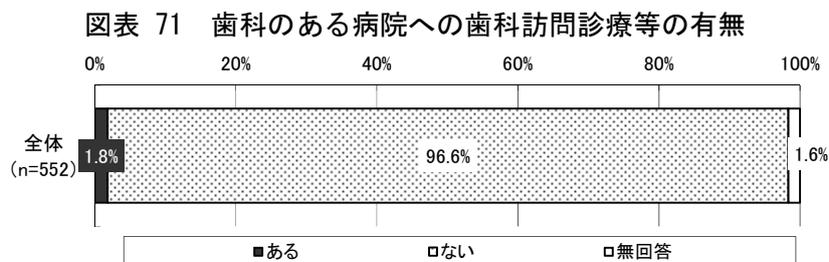
	自宅		居住系施設		介護老人保健施設	
	施設数(件)	構成割合	施設数(件)	構成割合	施設数(件)	構成割合
0か所	1	14.3%	1	14.3%	2	28.6%
1か所	0	0.0%	0	0.0%	2	28.6%
2か所	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
3か所	1	14.3%	0	0.0%	0	0.0%
4か所	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
5～9か所	0	0.0%	3	42.9%	1	14.3%
10～19か所	1	14.3%	0	0.0%	0	0.0%
20か所以上	2	28.6%	1	14.3%	0	0.0%
無回答	2	28.6%	2	28.6%	2	28.6%
全体	7	100.0%	7	100.0%	7	100.0%

	介護老人福祉施設		病院		その他	
	施設数(件)	構成割合	施設数(件)	構成割合	施設数(件)	構成割合
0か所	5	71.4%	5	71.4%	4	57.1%
1か所	0	0.0%	0	0.0%	1	14.3%
2か所	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
3か所	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
4か所	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
5～9か所	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
10～19か所	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
20か所以上	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
無回答	2	28.6%	2	28.6%	2	28.6%
全体	7	100.0%	7	100.0%	7	100.0%

(5) 歯科訪問診療等における取組内容

① 歯科のある病院への歯科訪問診療等

平成 28 年 4 月以降、周術期口腔機能管理に関連して、歯科のある（歯科を標榜している）病院への歯科訪問診療等の有無をみると、「ある」は 1.8%であった。



(注) 歯科訪問診療等を行っている 552 施設を集計対象とした。

平成 28 年 4 月以降、歯科のある（歯科を標榜している）病院に訪問するようになったきっかけをみると、「施設に通院していた患者からの依頼」が 9 施設（90.0%）であった。また、「病院の医師からの依頼」と「地域歯科医師会からの依頼・紹介」がともに 3 施設（30.0%）であった。

図表 72 歯科のある病院に訪問するようになったきっかけ（複数回答）

（歯科のある病院への歯科訪問診療等を行ったことがある施設）

	施設数(件)	構成割合
施設に通院していた患者からの依頼	9	90.0%
病院の歯科医師からの依頼	1	10.0%
病院の医師からの依頼	3	30.0%
地域歯科医師会からの依頼・紹介	3	30.0%
その他	0	0.0%
全体	10	100.0%

平成 28 年 4 月以降、歯科のある（歯科を標榜している）病院に訪問する場合の治療内容をみると、「義歯調整、有床義歯修理、有床義歯内面適合法」が 8 施設（80.0%）、「歯周病検査、歯周基本治療」、「口腔衛生指導」が各 7 施設（70.0%）であった。

図表 73 歯科のある病院に訪問する場合の治療内容（複数回答）
（歯科のある病院への歯科訪問診療等を行ったことがある施設）

	施設数(件)	構成割合
周術期口腔機能管理計画の策定	1	10.0%
歯周病検査、歯周基本治療	7	70.0%
口腔衛生指導	7	70.0%
う蝕治療	3	30.0%
抜髄、感染根管治療	2	20.0%
抜歯	2	20.0%
義歯製作	3	30.0%
義歯調整、有床義歯修理、有床義歯内面適合法	8	80.0%
その他	0	0.0%
全体	10	100.0%

歯科のある（歯科を標榜している）病院の病院歯科との役割分担の内容をみると、「治療内容でそれぞれの分担を取り決めている」、「役割分担について特に取り決めはない」がそれぞれ 3 施設（30.0%）、「患者毎に担当を分担している」、「患者毎に、術前に必要な治療のみ施設が分担している」が各 2 施設（20.0%）であった。

図表 74 歯科のある病院の病院歯科との役割分担の内容（複数回答）
（歯科のある病院への歯科訪問診療等を行ったことがある施設）

	施設数(件)	構成割合
患者毎に担当を分担している	2	20.0%
治療内容でそれぞれの分担を取り決めている	3	30.0%
患者毎に、術前に必要な治療のみ施設が分担している	2	20.0%
患者毎に、術前に必要な治療のみ病院の歯科が分担している	1	10.0%
役割分担について特に取り決めはない	3	30.0%
その他	1	10.0%
全体	10	100.0%

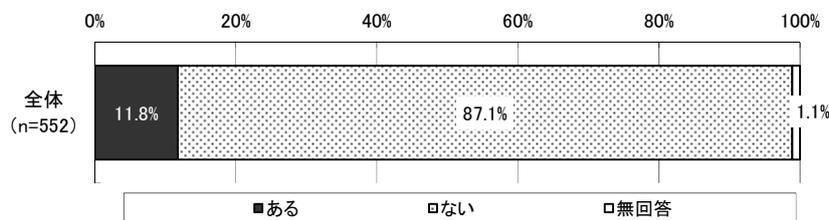
図表 75 治療内容でそれぞれの分担を取り決めている場合の自院の担当内容（複数回答）
（「治療内容でそれぞれの分担を取り決めている」と回答した施設）

	施設数(件)	構成割合
周術期口腔機能管理計画の策定	0	0.0%
歯周病検査、歯周基本治療	1	33.3%
口腔衛生指導	2	66.7%
う蝕治療	1	33.3%
抜髄、感染根管治療	1	33.3%
抜歯	1	33.3%
義歯製作	2	66.7%
義歯調整、有床義歯修理、有床義歯内面適合法	2	66.7%
その他	0	0.0%
全体	3	100.0%

②在宅患者訪問口腔リハビリテーション指導管理料に関する取組状況等

平成 28 年 4 月以降、在宅患者訪問口腔リハビリテーション指導管理料の算定の有無をみると、「ある」は 11.8%であった。

図表 76 在宅患者訪問口腔リハビリテーション指導管理料の算定の有無

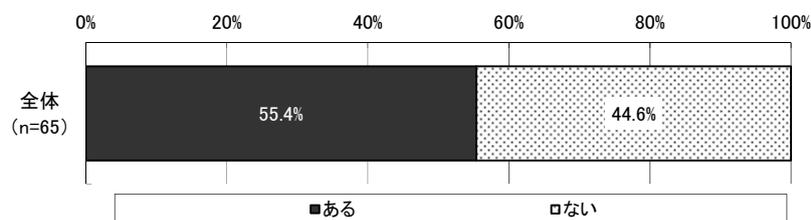


(注) 歯科訪問診療等を行っている 552 施設を集計対象とした。

平成 28 年 4 月以降に「在宅患者訪問口腔リハビリテーション指導管理料」を算定している施設における、平成 28 年 3 月以前の摂食機能療法の算定の有無をみると、「ある」が 55.4%、「ない」が 44.6%であった。

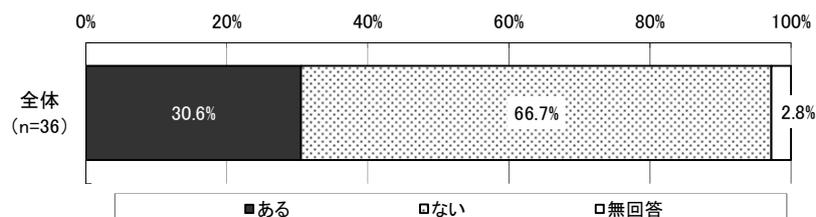
図表 77 平成 28 年 3 月以前の摂食機能療法の算定の有無

(平成 28 年 4 月以降、在宅患者訪問口腔リハビリテーション指導管理料の算定がある施設)



平成 28 年 3 月以前に摂食機能療法の算定が「ある」と回答した施設に対して、摂食機能療法から在宅患者訪問口腔リハビリテーション指導管理料を算定するようになって、対象患者や実際の診療内容に変化があったかどうかを尋ねたところ、「ある」と回答した施設が 30.6%であった。

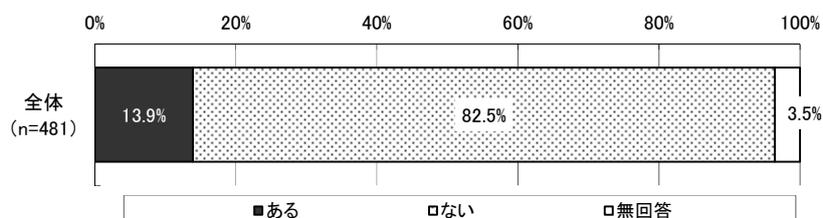
図表 78 摂食機能療法を算定した時と比較して対象患者や実際の診療内容における変化の有無 (平成 28 年 3 月以前に摂食機能療法を算定したことが「ある」と回答した施設)



(注) 変化の内容としては、「日常生活の幅の広がり」、「開口状態の改善」、「舌機能の改善」、「口腔内が清潔になる」、「咀嚼、嚥下の改善」、「食事時間の短縮」、「発語量が増えた」等が挙げられた。

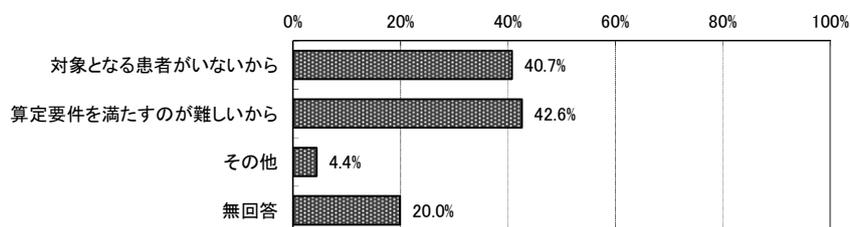
平成 28 年 4 月以降、在宅患者訪問口腔リハビリテーション指導管理料を算定していない施設における、平成 28 年 3 月以前の摂食機能療法の算定の有無をみると、「ある」は 13.9%であった。

図表 79 平成 28 年 3 月以前の摂食機能療法の算定の有無
(平成 28 年 4 月以降、在宅患者訪問口腔リハビリテーション指導管理料の算定がない施設)



平成 28 年 4 月以降、在宅患者訪問口腔リハビリテーション指導管理料を算定していない施設における、算定していない理由をみると、「算定要件を満たすのが難しいから」が 42.6%で最も多く、次いで「対象となる患者がいないから」(40.7%)であった。

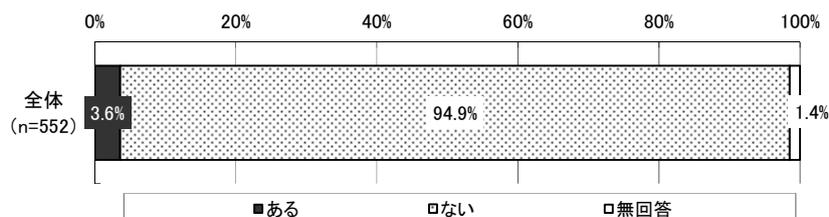
図表 80 現在、在宅患者訪問口腔リハビリテーション指導管理料を算定していない理由 (複数回答、n=481)
(平成 28 年 4 月以降、在宅患者訪問口腔リハビリテーション指導管理料の算定がない施設)



③栄養サポートチーム連携加算に関する取組状況等

平成 28 年 4 月以降の、栄養サポートチーム連携加算 1・2 の算定の有無をみると、「ある」は 3.6%であった。

図表 81 栄養サポートチーム連携加算 1・2 の算定の有無



(注) 歯科訪問診療等を行っている 552 施設を集計対象とした。

平成 28 年 4 月以降の、栄養サポートチーム連携加算 1・2 を算定している施設における、NST やミールラウンド（食事観察）等に参加している施設数は次のとおりである。

図表 82 NST やミールラウンド（食事観察）等に参加している施設数
（栄養サポートチーム連携加算 1・2 を算定している施設）

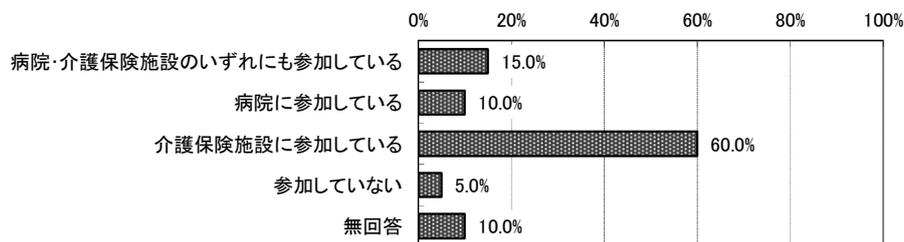
（単位：施設）

	施設数(件)	平均値	標準偏差	中央値
病院	18	0.4	0.9	0.0
介護保険施設	16	3.5	9.8	1.0

（注）栄養サポートチーム連携加算 1・2 を算定している施設のうち、参加している施設数について記入のあった施設を集計の対象とした。

栄養サポートチーム連携加算 1・2 を算定している施設に対して、平成 28 年 3 月以前からの NST やミールラウンド（食事観察）等への参加状況をみると、「介護保険施設に参加している」が 60.0%で最も多く、次いで「病院・介護保険施設のいずれにも参加している」(15.0%)であった。

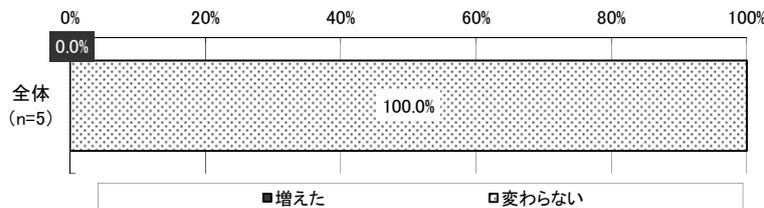
図表 83 平成 28 年 3 月以前からの NST やミールラウンド（食事観察）等への参加状況（栄養サポートチーム連携加算 1・2 を算定している施設、複数回答、n=20）



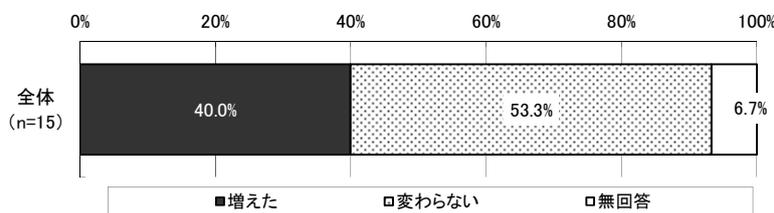
栄養サポートチーム連携加算 1・2 を算定している施設に対して、平成 28 年 4 月以降、NST やミールラウンド（食事観察）等への参加依頼が増えたかどうかを尋ねたところ、全ての施設が病院からの依頼については「変わらない」と回答した。

一方、介護保険施設からの依頼については「増えた」が 40.0%であった。

図表 84 平成 28 年 4 月以降の、NST やミールラウンド（食事観察）等への病院からの参加依頼の状況（栄養サポートチーム連携加算 1・2 を算定している施設）

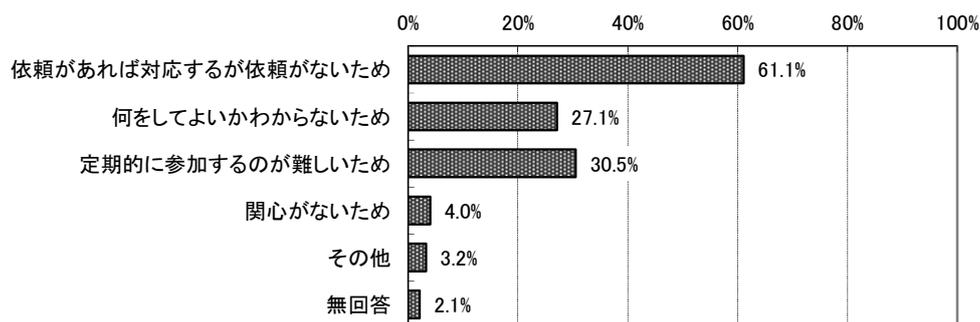


図表 85 平成 28 年 4 月以降の、NST やミーラウンド（食事観察）等への
介護保険施設からの参加依頼の状況
（栄養サポートチーム連携加算 1・2 を算定している施設）



平成 28 年 4 月以降、栄養サポートチーム連携加算 1・2 を算定していない施設における、その理由をみると、「依頼があれば対応するが依頼がないため」が 61.1%で最も多く、次いで「定期的に参加するのが難しいため」(30.5%)、「何をしてもよいかわからないため」(27.1%)であった。

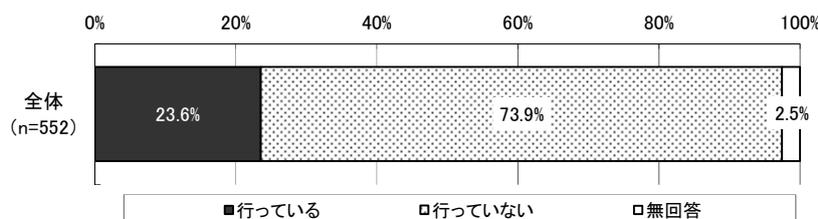
図表 86 栄養サポートチーム連携加算 1・2 を算定していない理由（複数回答、n=524）
（平成 28 年 4 月以降、栄養サポートチーム連携加算 1・2 を算定していない施設）



④在宅歯科医療推進加算の届出状況

在宅歯科医療推進加算の届出状況をみると、届出を「行っている」が 23.6%、「行っていない」が 73.9%であった。

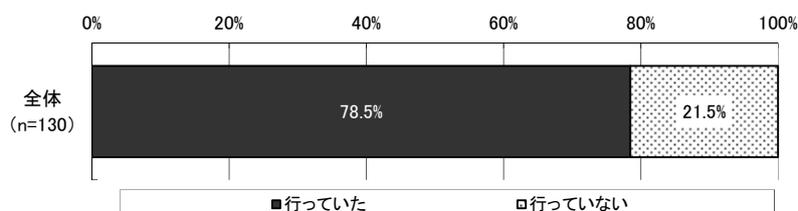
図表 87 在宅歯科医療推進加算の届出の有無



(注) 歯科訪問診療等を行っている 552 施設を集計対象とした。

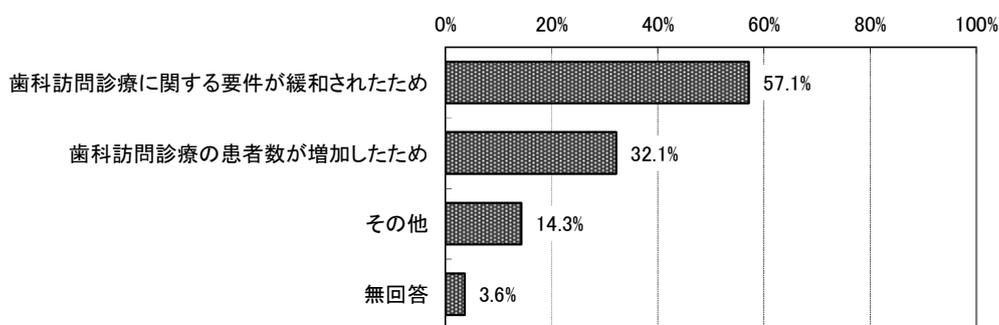
在宅歯科医療推進加算の届出を「行っている」施設に対して、平成28年3月以前の「在宅かかりつけ歯科診療所加算」の届出状況を尋ねたところ、届出を「行っていた」が78.5%、「行っていない」が21.5%であった。

図表 88 平成28年3月以前における「在宅かかりつけ歯科診療所加算」の届出状況
(在宅歯科医療推進加算の届出を行っている施設)



平成28年3月以前は在宅かかりつけ歯科診療所加算の届出を行っていなかったが、平成28年4月以降、在宅歯科医療推進加算の届出を行った理由を尋ねたところ、「歯科訪問診療に関する要件が緩和されたため」が57.1%で最も多く、次いで「歯科訪問診療の患者数が増加したため」(32.1%)であった。

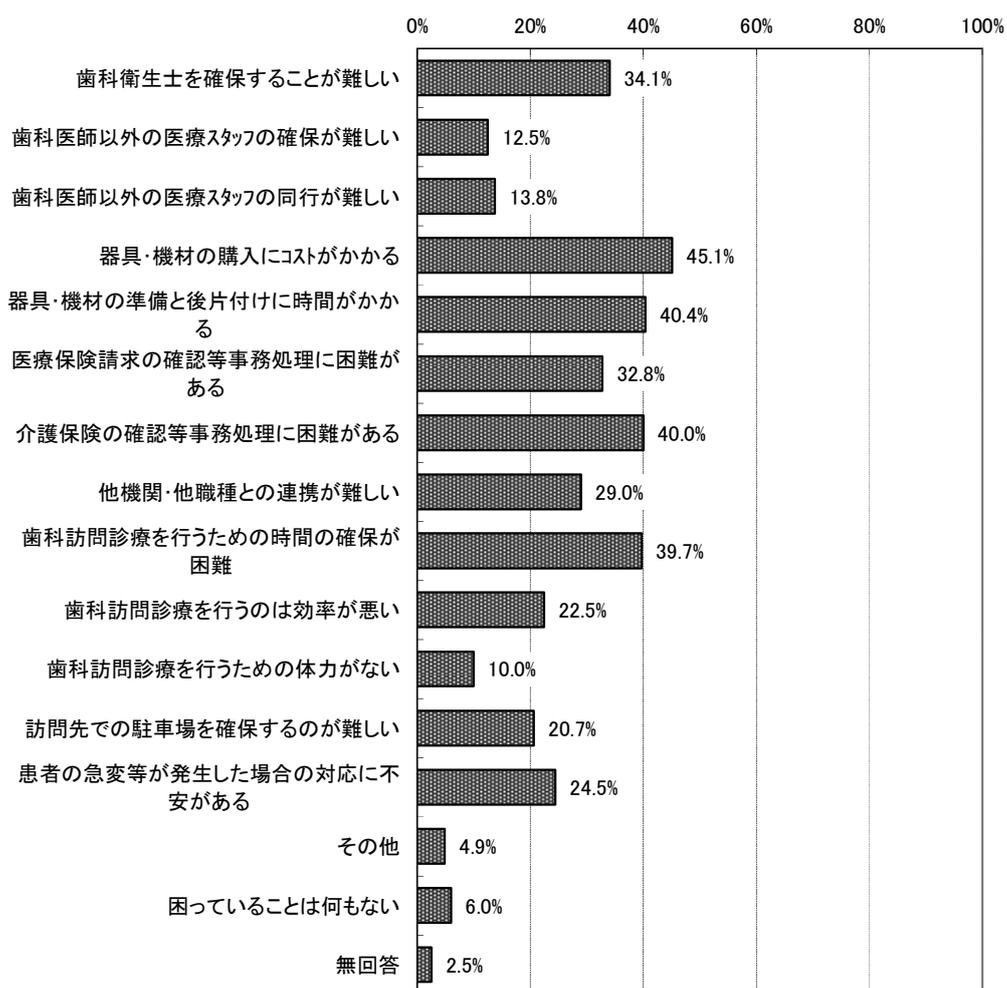
図表 89 平成28年4月以降、在宅歯科医療推進加算の届出を行った理由
(平成28年3月以前に在宅かかりつけ歯科診療所加算の届出を行っていなかった施設)
(複数回答、n=28)



⑤ 歯科訪問診療を行う上で困っていること

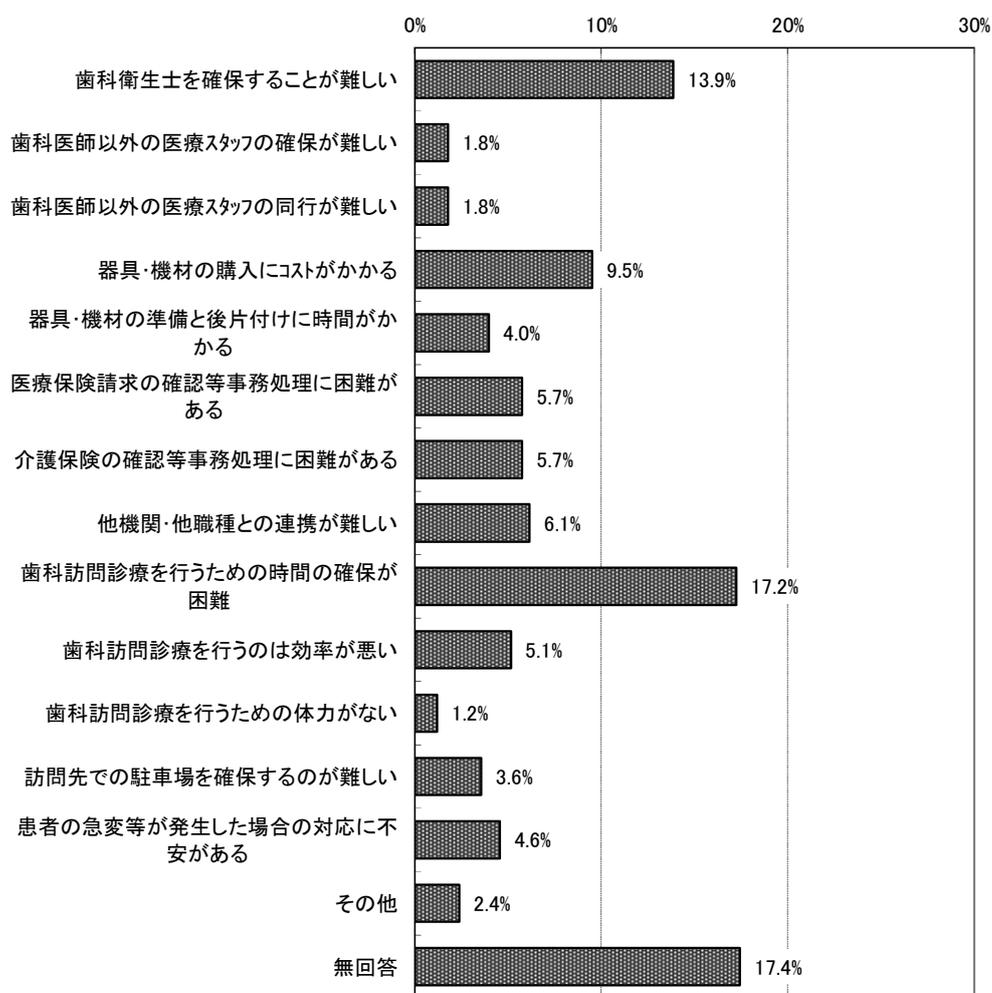
歯科訪問診療を行う上で困っていることをみると、「器具・機材の購入にコストがかかる」が45.1%で最も多く、次いで「器具・機材の準備と後片付けに時間がかかる」(40.4%)、「介護保険の確認等事務処理に困難がある」(40.0%)、「歯科訪問診療を行うための時間の確保が困難」(39.7%)であった。

図表 90 歯科訪問診療を行う上で困っていること
(歯科訪問診療を行っている施設、複数回答、n=552)



歯科訪問診療を行う上で最も困っていることをみると、「歯科訪問診療を行うための時間の確保が困難」が17.2%で最も多く、次いで「歯科衛生士を確保することが難しい」(13.9%)、「器具・機材の購入にコストがかかる」(9.5%)であった。

図表 91 歯科訪問診療を行う上で最も困っていること
(歯科訪問診療を行っている施設、単数回答、n=505)



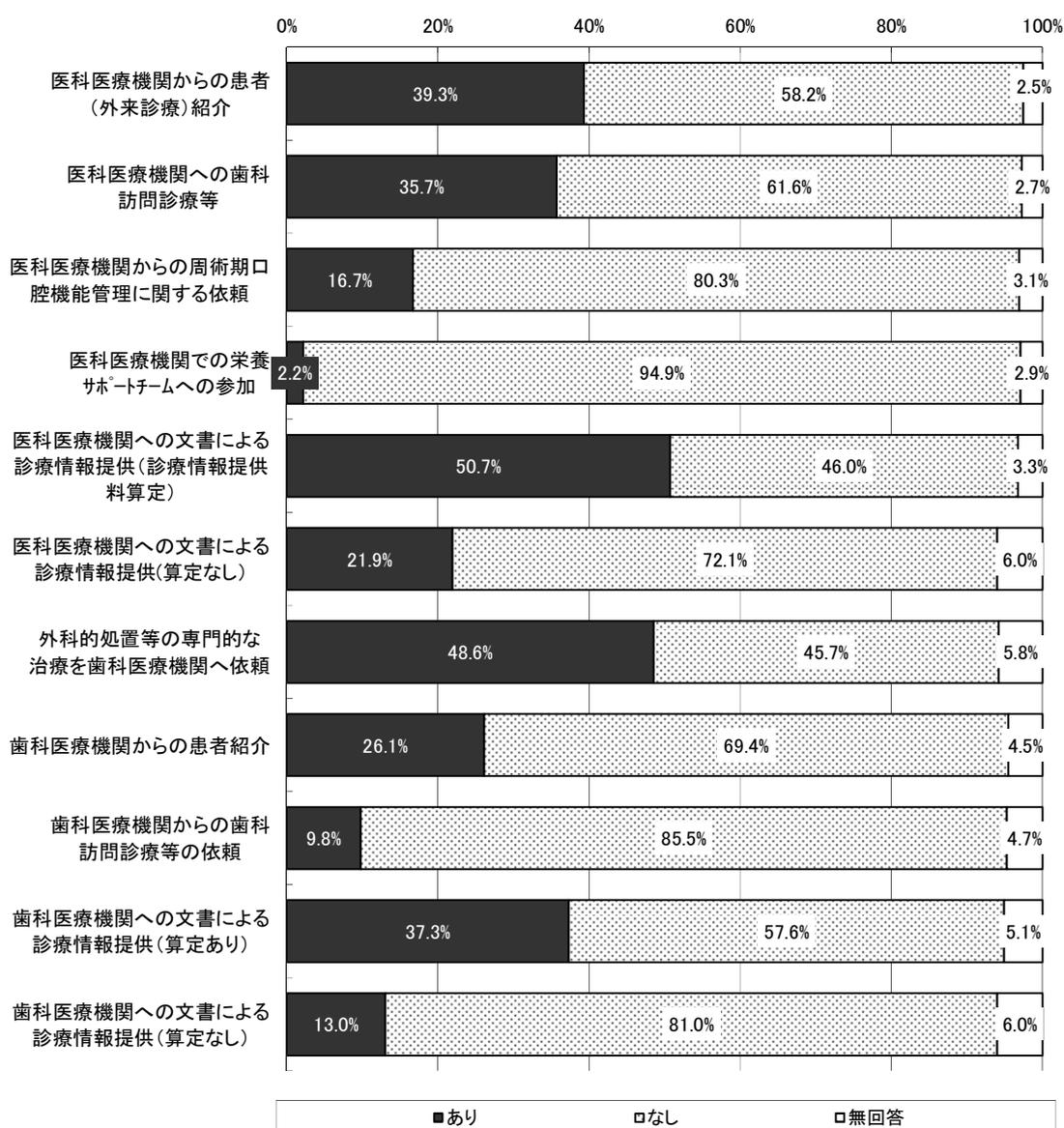
(注)「歯科訪問診療を行う上で困っていること」について無回答だった施設を除く施設を集計対象とした。

(6) 他施設等との連携状況

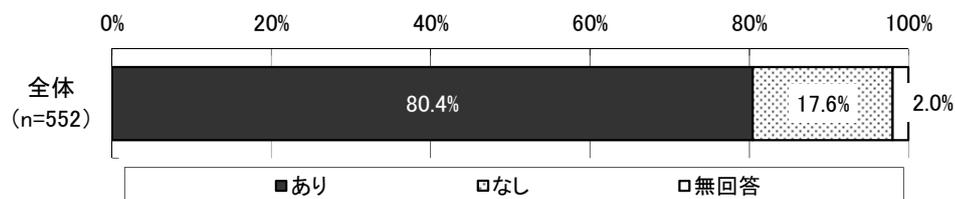
① 医科医療機関・歯科医療機関との患者紹介や情報提供・共有等

平成 28 年 8 月～10 月の 3 か月間における、医科医療機関・歯科医療機関との患者紹介や情報提供・共有等を見ると、「あり」の割合が高かったのは、「医科医療機関への文書による診療情報提供（診療情報提供料算定）」（50.7%）、「外科的処置等の専門的な治療を歯科医療機関へ依頼」（48.6%）であった。一方、「医科医療機関での栄養サポートチームへの参加」（2.2%）は特に「あり」の割合が低かった。

図表 92 医科医療機関・歯科医療機関との患者紹介や情報提供・共有等 (n=552)



図表 93 医科医療機関・歯科医療機関との連携の有無



(注) 前の図表に記載の連携内容についていずれか1つでも行っているものを「あり」、いずれも行っていないものを「なし」、それ以外（「なし」＋無回答、すべて無回答）を「無回答」として集計した結果である。

図表 94 診療情報提供料を算定していないが文書による情報提供を行っている場合の具体的な内容（自由記述式）

○医科

- ・当日の診療内容、実地指導状況、次回の予定等についての経過報告。
- ・口腔清掃ができていない部位のブラッシング指導や義歯の洗浄方法など。
- ・病棟でのフォローの依頼。
- ・全身疾患の照会。
- ・服薬の確認。
- ・高血圧治療薬による歯肉増殖のため、処方薬の変更依頼。
- ・投薬について注意の必要があるか否かを確認。
- ・抜歯可否についての問合せ。
- ・休薬依頼。
- ・医科依頼でないVE（嚥下内視鏡）検査の結果報告。

○歯科

- ・歯列不正、咬合異常。
- ・抜歯依頼。
- ・処置に対するセカンドオピニオンのために紹介。
- ・小児の治療困難な場合。
- ・大学歯科への依頼（口腔外科）。
- ・口腔内腫瘍等。

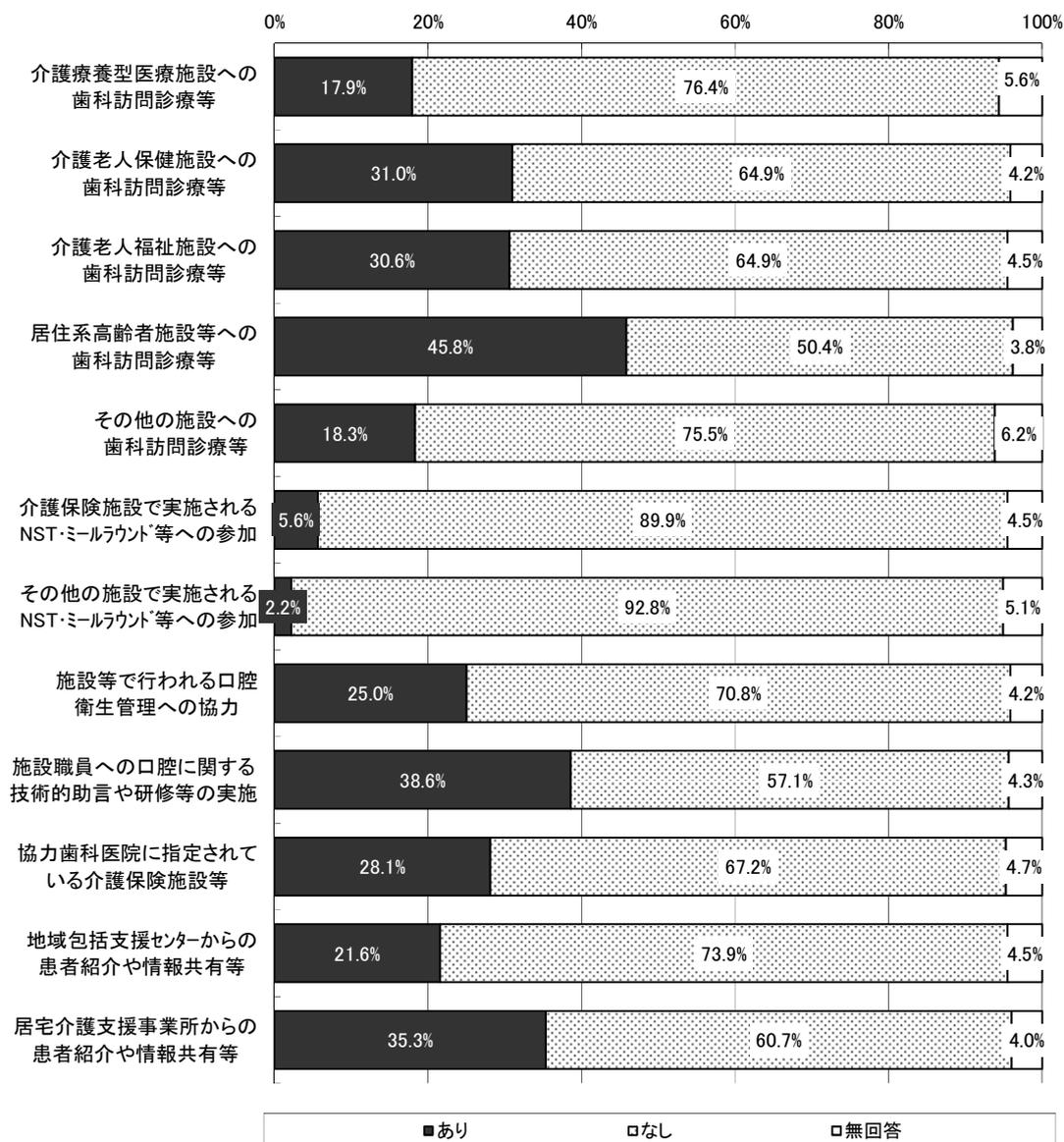
○その他

- ・同月2回目の文書のため未算定。
- ・同法人内の情報提供。
- ・情報提供に対する返信。

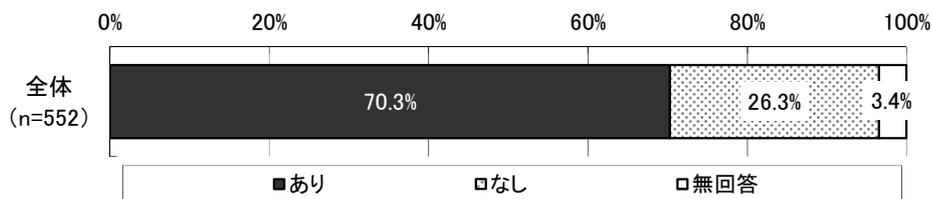
②介護保険施設等との連携状況

平成 28 年 8 月～10 月の 3 か月間における、介護保険施設等との連携状況をみると、「あり」の割合が高かったのは、「居住系高齢者施設等への歯科訪問診療等」(45.8%)、「施設職員への口腔に関する技術的助言や研修等の実施」(38.6%)であった。一方、「その他の施設で実施される NST・ミールラウンド等への参加」(2.2%) は特に「あり」の割合が低かった。

図表 95 介護保険施設等との連携状況 (n=552)



図表 96 介護保険施設等との連携の有無

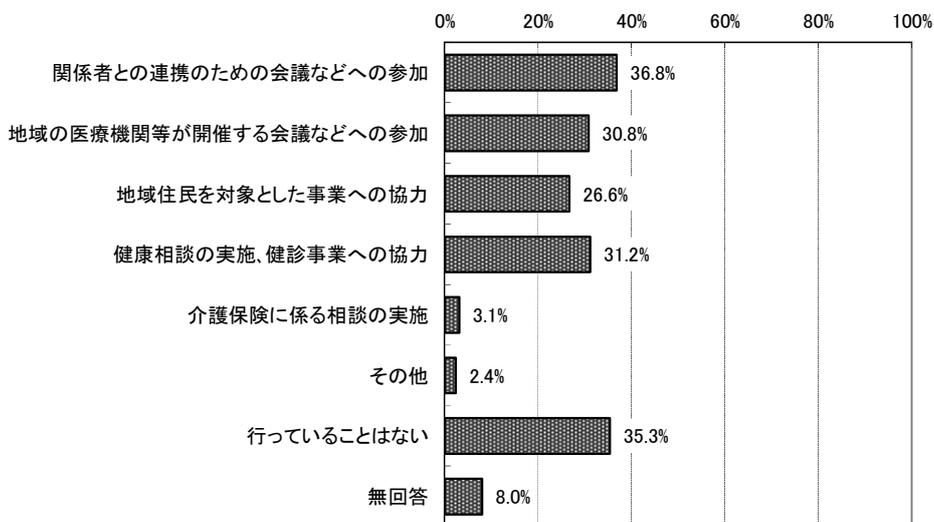


(注) 前の図表に記載の連携内容についていずれか1つでも行っているものを「あり」、いずれも行っていないものを「なし」、それ以外（「なし」＋無回答、すべて無回答）を「無回答」として集計した結果である。

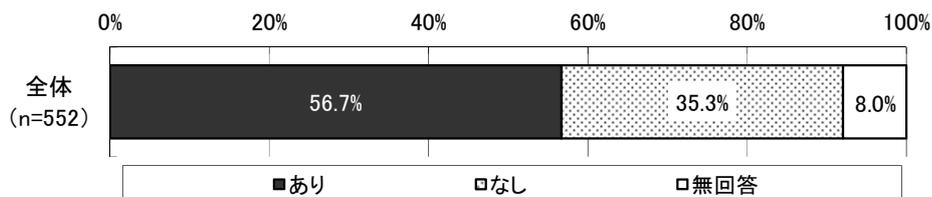
③地域の在宅医療・介護等を担う医療機関・事業所との連携等

地域の在宅医療・介護等を担う医療機関・事業所との連携等をみると、「関係者との連携のための会議などへの参加」が36.8%、「健康相談の実施、健診事業への協力」が31.2%、「地域の医療機関等が開催する会議などへの参加」が30.8%であった。一方、「行っていることはない」が35.3%であった。

図表 97 地域の在宅医療・介護等を担う医療機関・事業所との連携等
(複数回答、n=552)



図表 98 地域の在宅医療・介護等を担う医療機関・事業所とのその他の連携等の有無

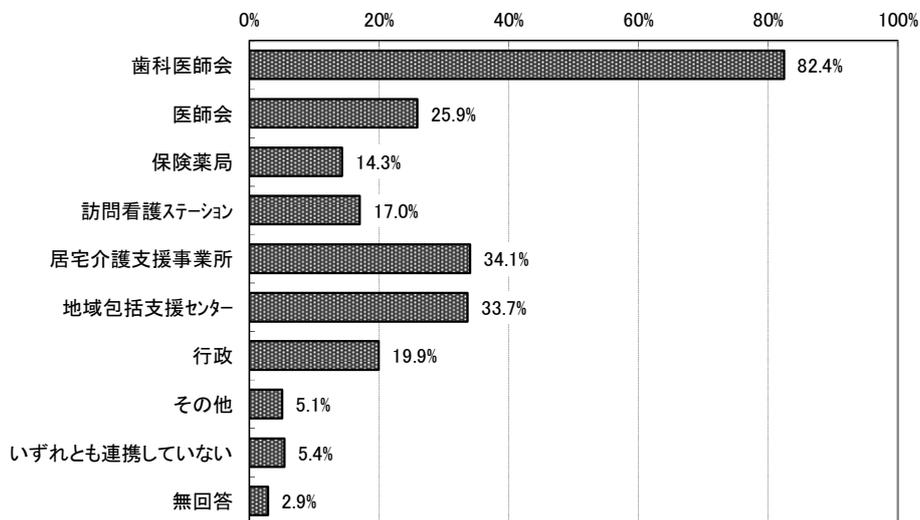


(注) 前の図表に記載の連携内容についていずれか1つでも行っているものを「あり」、いずれも行っていないものを「なし」、それ以外（「なし」＋無回答、すべて無回答）を「無回答」として集計した結果である。

④連携している機関等

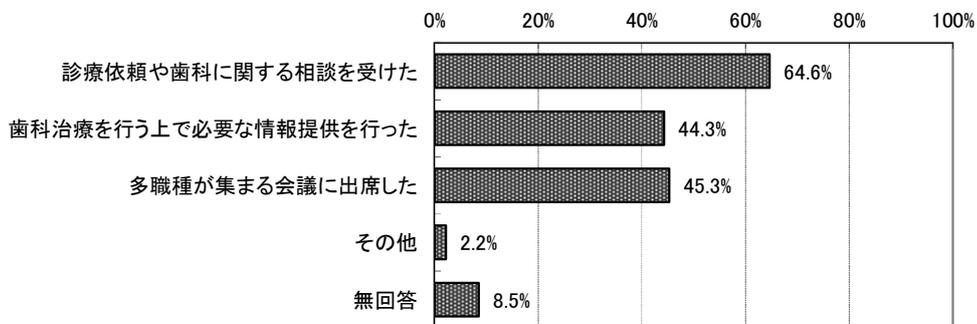
連携している機関等は次のとおりである。

図表 99 連携している機関等（複数回答、n=552）



上記の機関との連携内容は次のとおりである。

図表 100 連携内容等（連携機関等がある施設、複数回答、n=506）



⑤連携する上で困っていること

連携する上で困っていることを自由記述式で記載していただいた内容は次のとおりである。

図表 101 連携する上で困っていること（自由記述式）

○情報共有

- ・集まる時間が診療時間と重なり参加できない。地域連絡のできる SNS などがあれば良い。
- ・医科との情報の交換をやりやすくしてほしい。条件が厳しい。よく理解できない。
- ・医科からの情報提供は全くない。
- ・医科の先生方の訪問診療における歯科への関心の無さ。
- ・お互いがお互いの仕事について無理解・理解不足。
- ・他医療機関や他施設での診断結果や生活状況が不明。またこちらの情報が他施設で反映されているのかも不明。
- ・ケアマネジャーに協力してもらえない。
- ・歯科訪問診療に関わる職種で、連携などに関する会合がない。
- ・歯科医師の介護現場に関する知識の圧倒的な不足。
- ・病院施設等の訪問対象患者との調整役がわからない。
- ・どのように連携を進めるべきかわからない。
- ・患者の体調が急変した際、病院・居宅介護支援事業所・地域包括支援センター等からの連絡がない。

○認知症等の病気のある患者

- ・どこまで介入（治療）していいのか判断に迷う。応急処置で終了。
- ・口腔状態や全身レベルが下がってから診療依頼がある場合が多い。
- ・病気のある人に対する抜歯で困っている。

○時間の調整

- ・時間の確保。
- ・時間の調整。

○理解の低さ

- ・歯科訪問診療への理解度が低い（特に口腔ケア、口腔機能管理の必要性について）。
- ・介護施設により口腔（歯科）に対する意識レベルの差があり、効果に支障を来たす。

○診療点数

- ・歯科訪問診療料 2 と 3 の点数が低すぎて経営効率が悪い。
- ・点数が低く、人が手配できない。

○その他

- ・依頼が少ない。
- ・一部負担金の徴収に困ることがある。

(7) 調査日における歯科訪問診療等

※調査日：平成28年9月1日～9月30日の間で1日の歯科訪問診療等の実績が最も多かった日

① 歯科訪問診療等を行った職員数

歯科訪問診療等を行った職員数は次のとおりである。

図表 102 歯科訪問診療等を行った職員数

(単位：人)

	施設数(件)	平均値	標準偏差	中央値
歯科医師	543	1.2	1.6	1.0
歯科衛生士	542	1.3	1.9	1.0
その他の職員	541	0.4	1.2	0.0
合計	543	2.8	4.1	2.0

(注) 記入のあった543施設を集計対象とした。

② 歯科訪問診療等を行った患者数

調査日1日に歯科訪問診療等を行った患者数は次のとおりである。

図表 103 歯科訪問診療等を行った患者数 (n=475)

(単位：人)

	歯科訪問診療等を行った患者数/日			同一建物内の患者数/日		
	平均値	標準偏差	中央値	平均値	標準偏差	中央値
歯科医師のみが訪問	0.9	3.3	0.0	0.7	3.0	0.0
歯科医師及び歯科衛生士が訪問	4.1	11.1	1.0	3.2	10.1	0.0
歯科医師及びその他の職員が訪問	0.4	2.9	0.0	0.3	1.7	0.0
歯科医師、歯科衛生士及びその他の職員が訪問	1.7	6.3	0.0	1.3	5.3	0.0
歯科医師の指示のもとに歯科衛生士が訪問	0.8	4.0	0.0	0.6	3.5	0.0

(注) ・ 歯科訪問診療等を行った患者数について全て記入のあった475施設を集計対象とした。

・ 「歯科医師の指示のもとに歯科衛生士が訪問」とは、歯科医師の指示のもとに歯科衛生士のみ（もしくは歯科衛生士と歯科医師以外の職種）が訪問したものを指す。

③ 歯科訪問診療等の診療等合計時間

調査日1日の歯科訪問診療等の診療等合計時間は次のとおりである。

図表 104 歯科訪問診療等の診療等合計時間／日 (n=475)

(単位：分)

	平均値	標準偏差	中央値
歯科医師のみが訪問	21.7	63.6	0.0
歯科医師及び歯科衛生士が訪問 歯科医師の診療時間	59.1	134.2	0.0
歯科医師及び歯科衛生士が訪問 歯科衛生士の指導時間	49.2	160.6	0.0
歯科医師及びその他の職員が訪問	11.7	74.8	0.0
歯科医師、歯科衛生士及びその他の職員が訪問 歯科医師の診療時間	29.7	100.9	0.0
歯科医師、歯科衛生士及びその他の職員が訪問 歯科衛生士の指導時間	21.0	104.1	0.0
歯科医師の指示のもとに歯科衛生士が訪問	14.9	81.7	0.0

- (注) ・ 歯科訪問診療等の診療等合計時間について記入のあった施設を集計対象とした。
- ・ 「歯科医師の指示のもとに歯科衛生士が訪問」とは、歯科医師の指示のもとに歯科衛生士のみ（もしくは歯科衛生士と歯科医師以外の職種）が訪問したものを指す。

3. 患者調査

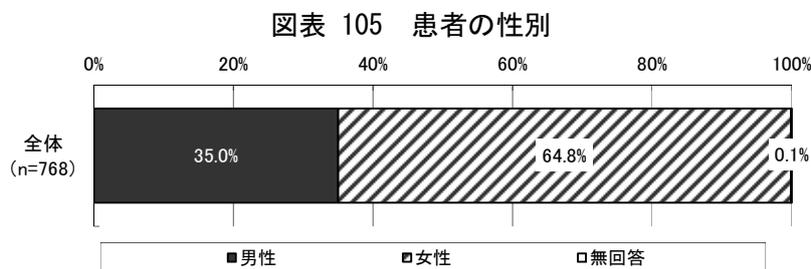
【調査対象等】

調査対象：施設調査の対象施設が調査日に歯科訪問診療を行った患者 1 施設に最大 2 名。
 回答数：768 件
 回答者：管理者

(1) 患者の基本属性等

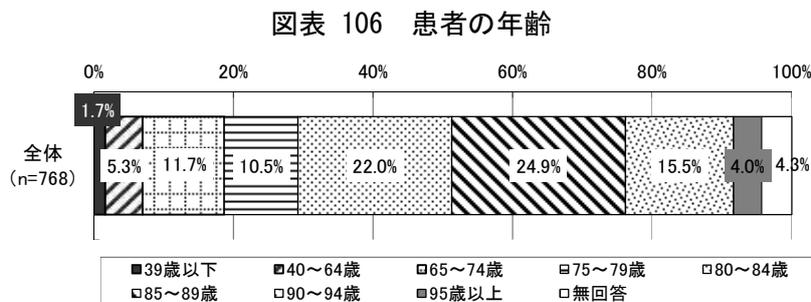
① 患者の性別

歯科訪問診療等を行った患者の性別は次のとおりである。



② 患者の年齢

歯科訪問診療等を行った患者の年齢は次のとおりである。



図表 107 患者の平均年齢

(単位：歳)

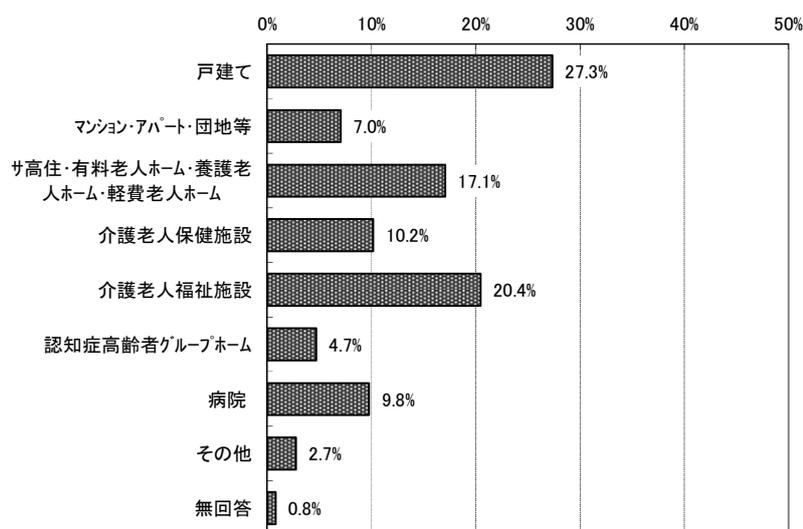
患者数(人)	平均値	標準偏差	中央値
735	81.2	11.9	84.0

(注) 年齢について記入のあった施設を集計対象とした。

③訪問先の建物種別

訪問先の建物種別をみると、「戸建て」が27.3%で最も多く、次いで「介護老人福祉施設」(20.4%)、「サ高住・有料老人ホーム・養護老人ホーム・軽費老人ホーム」(17.1%)であった。

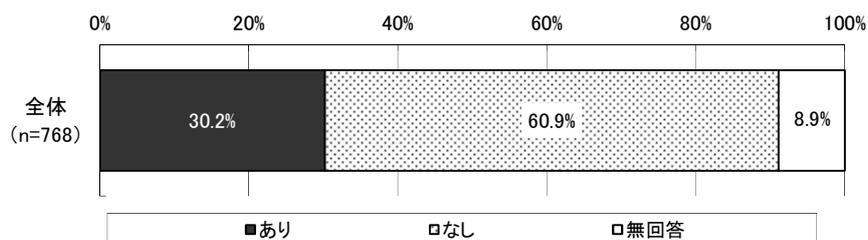
図表 108 訪問先の建物種別 (単数回答、n=768)



④同居家族の有無

同居家族の有無をみると、「あり」が30.2%、「なし」が60.9%であった。

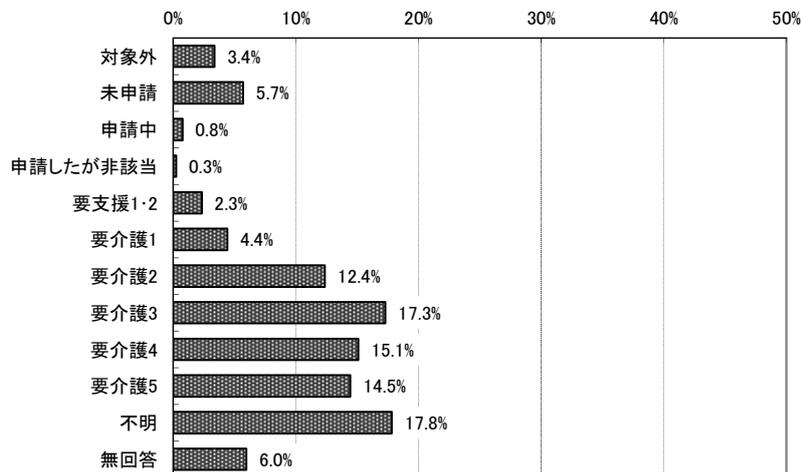
図表 109 同居家族の有無



⑤要介護度

要介護度をみると、「要介護3」が17.3%、「要介護4」が15.1%、「要介護5」が14.5%であった。また、「不明」が17.8%であった。

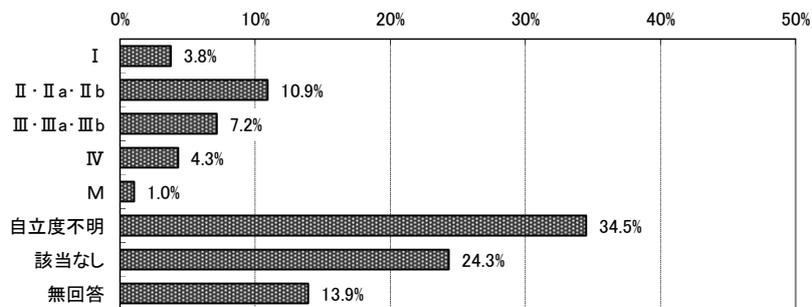
図表 110 要介護度（単数回答、n=768）



⑥認知症高齢者の日常生活自立度

認知症高齢者の日常生活自立度は次のとおりである。

図表 111 認知症高齢者の日常生活自立度（単数回答、n=768）

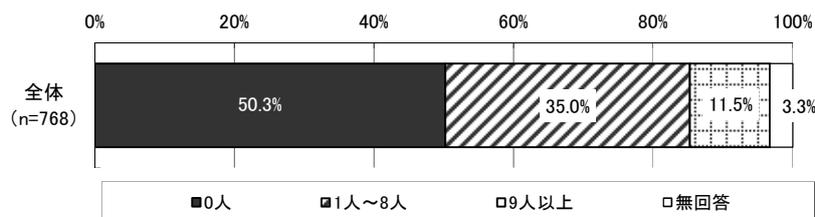


(2) 歯科訪問診療等の内容

①同一建物内における歯科訪問診療を行った患者数

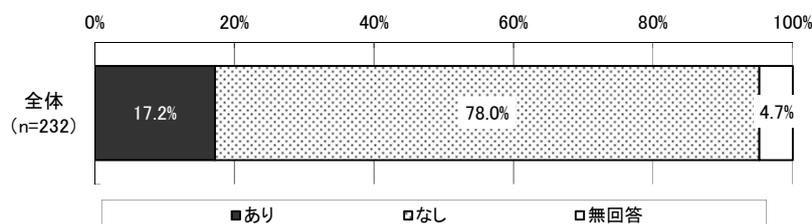
同一日の、同一建物内における歯科訪問診療を行った患者数(当該患者を除く)をみると、「0人」が50.3%、「1人～8人」が35.0%、「9人以上」が11.5%であった。

図表 112 同一建物内における歯科訪問診療を行った患者数



調査日における同居家族に対する歯科訪問診療の有無をみると、「あり」が17.2%、「なし」が78.0%であった。

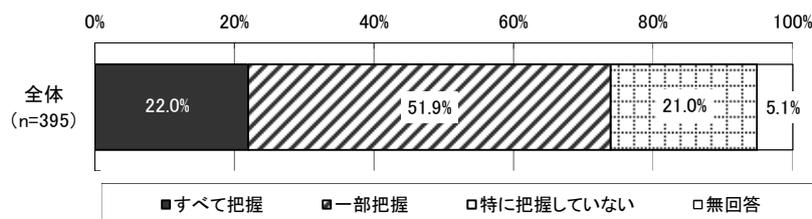
図表 113 調査日の同居家族に対する歯科訪問診療の有無
(同居家族のある患者)



②当該患者の在宅医療・介護サービスの把握状況

当該患者の在宅医療・介護サービスの把握状況をみると、「すべて把握」が22.0%、「一部把握」が51.9%、「特に把握していない」が21.0%であった。

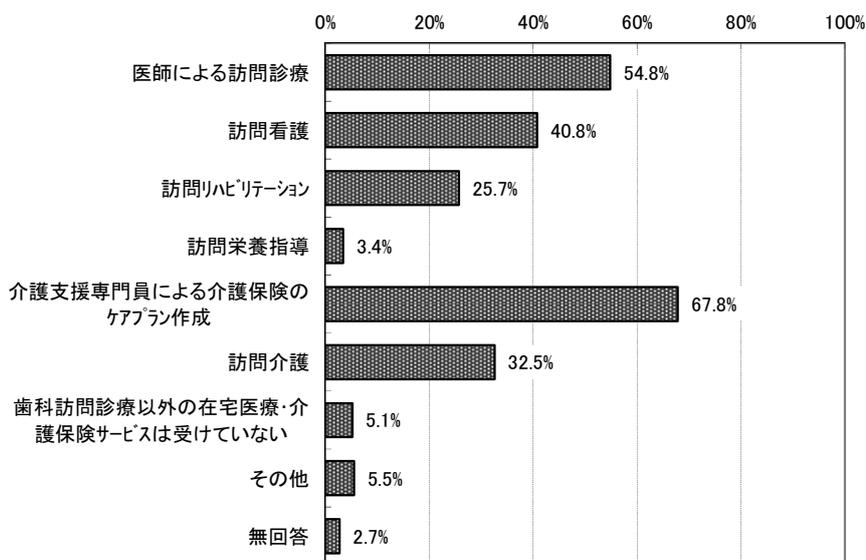
図表 114 当該患者の在宅医療・介護サービスの把握状況



③ 歯科訪問診療以外に当該患者が受けている在宅医療・介護サービスの内容

歯科訪問診療以外に当該患者が受けている在宅医療・介護サービスの内容をみると、「介護支援専門員による介護保険のケアプラン作成」が67.8%で最も多く、次いで「医師による訪問診療」(54.8%)、「訪問看護」(40.8%)、「訪問介護」(32.5%)、「訪問リハビリテーション」(25.7%)であった。

図表 115 歯科訪問診療以外に当該患者が受けている在宅医療・介護サービスの内容
(サービス内容を把握している患者、複数回答、n=292)

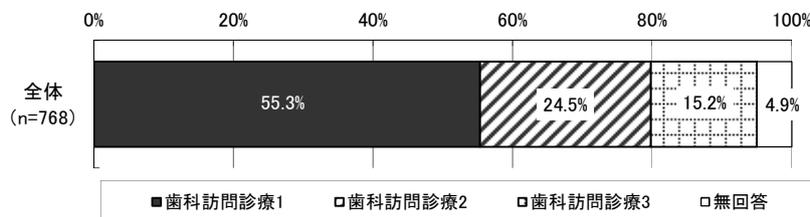


(注) 当該患者の在宅医療・介護サービスの利用状況を「すべて把握」または「一部把握」と回答のあったものを対象に尋ねた質問である。

④ 算定した歯科訪問診療料の種類

算定した歯科訪問診療料の種類をみると、「歯科訪問診療1」が55.3%、「歯科訪問診療2」が24.5%、「歯科訪問診療3」が15.2%であった。

図表 116 算定した歯科訪問診療料の種類



図表 117 算定した歯科訪問診療料の種類（訪問先別）

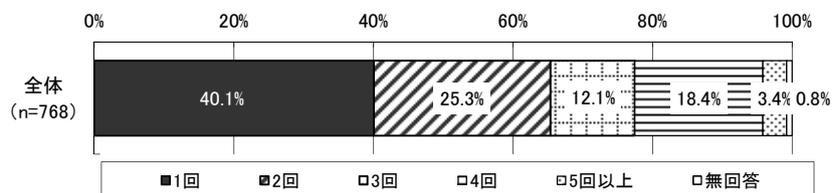
（単位：上段「人」、下段「%」）

	総数	歯科訪問診療1	歯科訪問診療2	歯科訪問診療3	無回答
全体	768	425	188	117	38
	100.0	55.3	24.5	15.2	4.9
戸建て	210	198	3	0	9
	100.0	94.3	1.4	0.0	4.3
マンション・アパート・団地等	54	49	0	0	5
	100.0	90.7	0.0	0.0	9.3
サ高住・有料老人ホーム・養護老人ホーム・軽費老人ホーム	131	56	55	16	4
	100.0	42.7	42.0	12.2	3.1
介護老人保健施設	78	27	19	24	8
	100.0	34.6	24.4	30.8	10.3
介護老人福祉施設	157	32	67	51	7
	100.0	20.4	42.7	32.5	4.5
認知症高齢者グループホーム	36	16	14	5	1
	100.0	44.4	38.9	13.9	2.8
病院	75	36	23	15	1
	100.0	48.0	30.7	20.0	1.3
その他	21	8	7	3	3
	100.0	38.1	33.3	14.3	14.3

⑤1 か月間における歯科訪問診療の頻度

平成 28 年 9 月 1 か月間における歯科訪問診療の頻度をみると、「1 回」が 40.1%で最も多く、次いで「2 回」(25.3%)、「4 回」(18.4%)、「3 回」(12.1%)、「5 回以上」(3.4%)であった。

図表 118 1 か月間における歯科訪問診療の頻度



図表 119 1 か月間における歯科訪問診療の頻度（算定した歯科訪問診療料別）

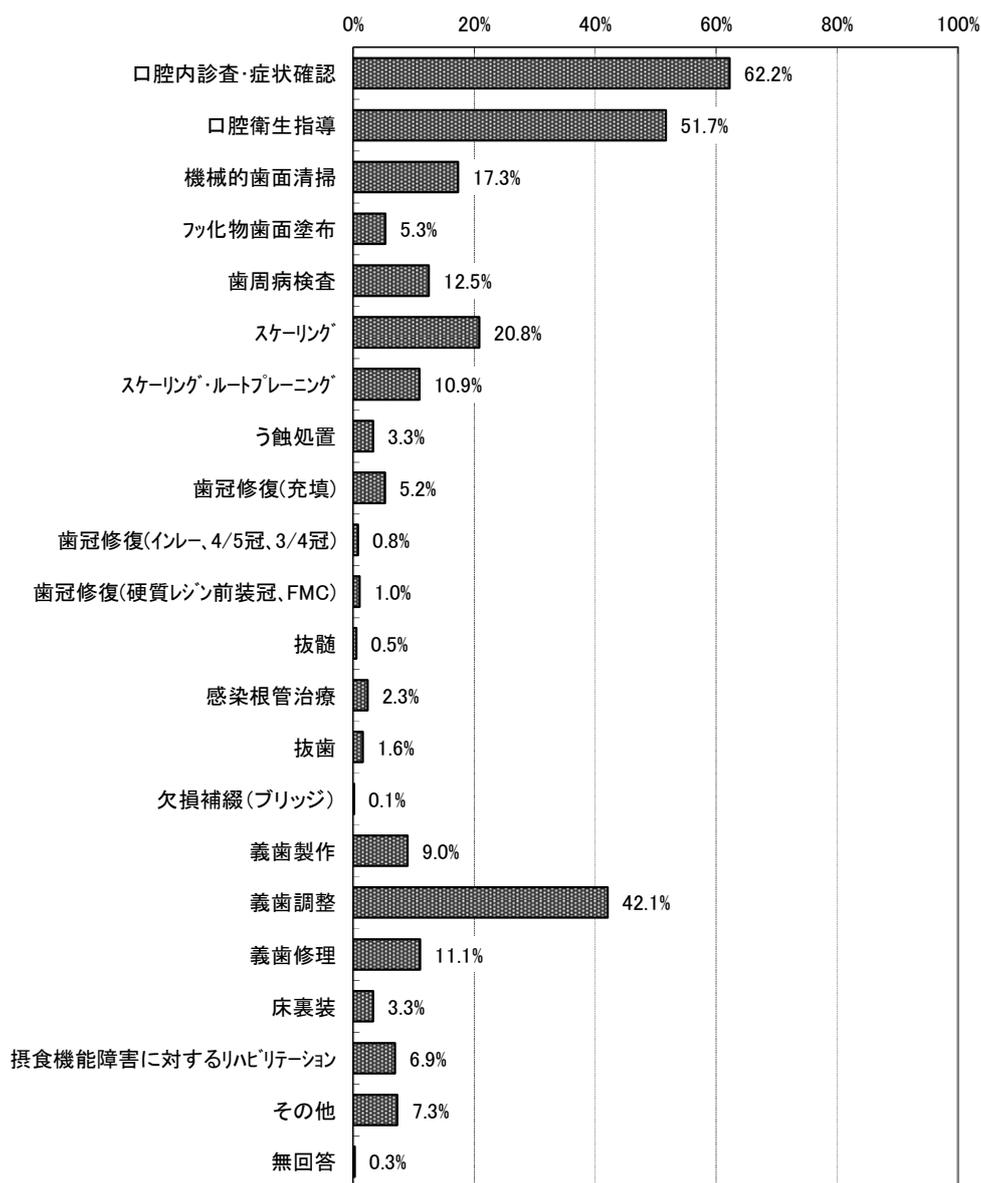
（単位：上段「人」、下段「%」）

	総数	1回	2回	3回	4回以上	無回答
全体	768	308	194	93	167	6
	100.0	40.1	25.3	12.1	21.7	0.8
歯科訪問診療1	425	181	116	47	76	5
	100.0	42.6	27.3	11.1	17.9	1.2
歯科訪問診療2	188	78	42	22	45	1
	100.0	41.5	22.3	11.7	23.9	0.5
歯科訪問診療3	117	37	24	19	37	0
	100.0	31.6	20.5	16.2	31.6	0.0

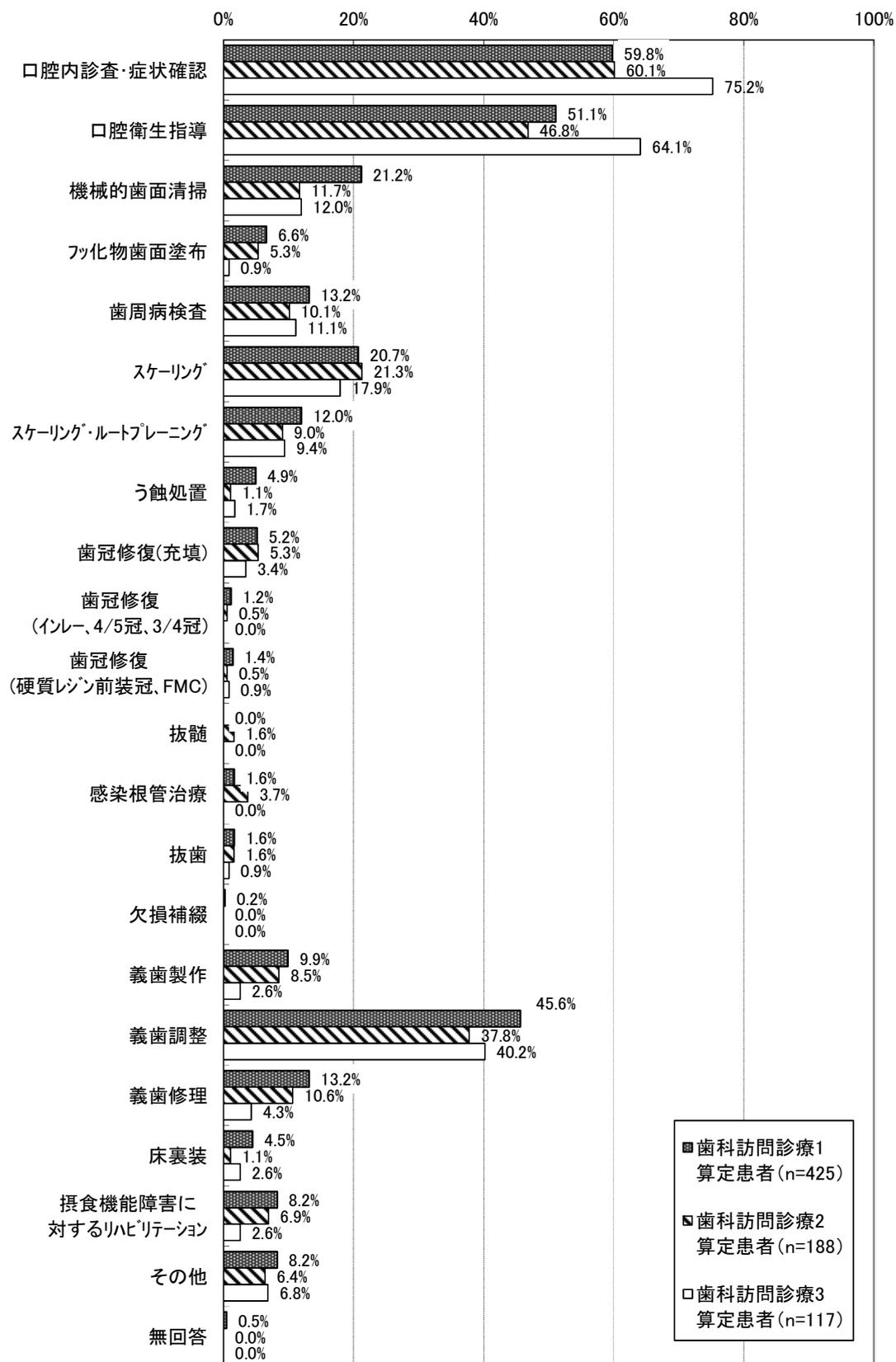
⑥調査日に行った診療内容

調査日に行った診療内容（各項目の一連に係る行為を含む）をみると、「口腔内診査・症状確認」が62.2%で最も多く、次いで「口腔衛生指導」(51.7%)、「義歯調整」(42.1%)、「スケーリング」(20.8%)、「機械的歯面清掃」(17.3%)であった。

図表 120 調査日に行った診療内容（複数回答、n=768）



図表 121 調査日に行った診療内容（算定した歯科訪問診療料の種類別、複数回答、n=768）

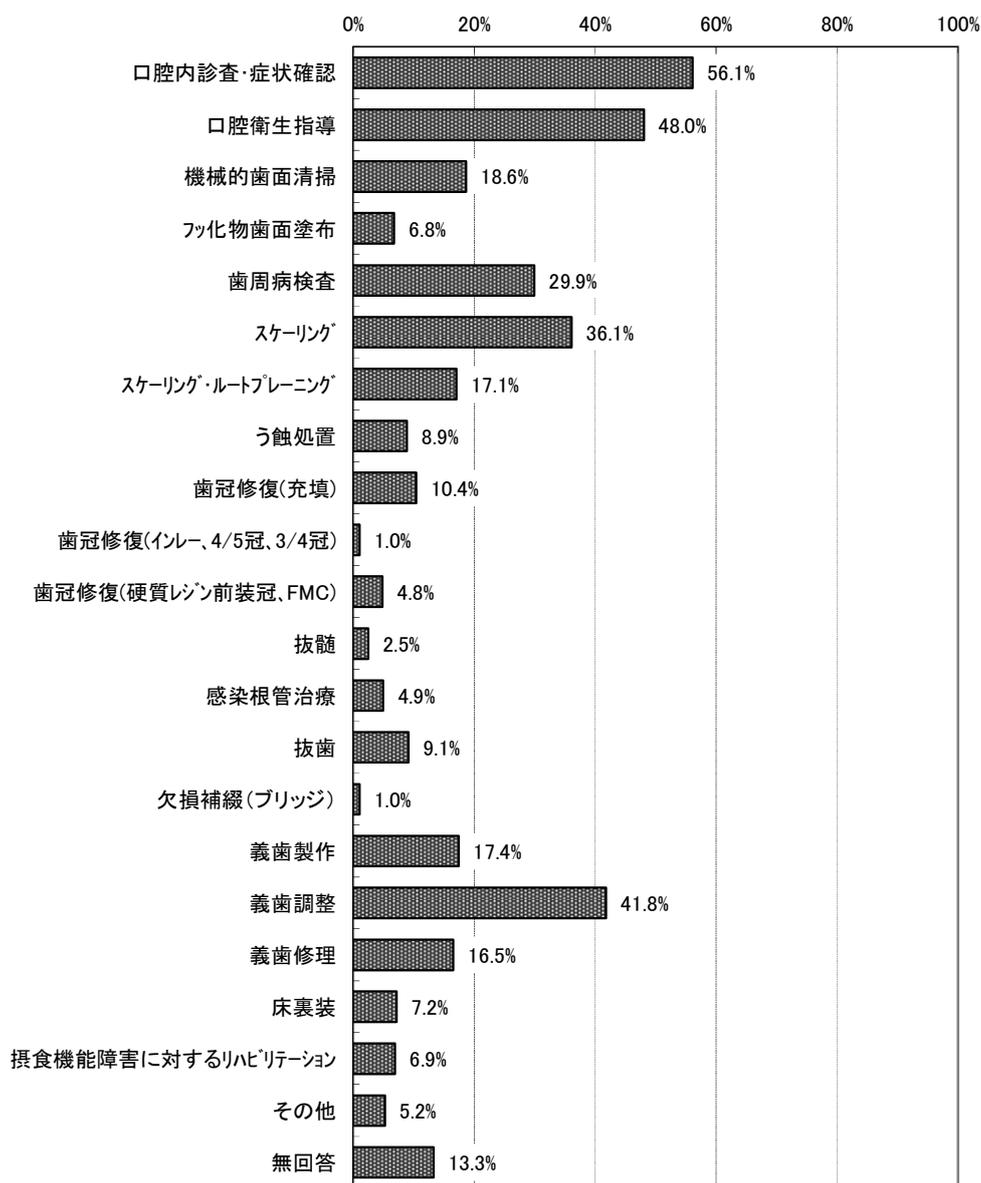


(注) 算定した歯科訪問診療料について記入のあったものを集計対象とした。

⑦当該初診期間内に行った診療内容

当該初診期間内に行った診療内容（調査日を除く）をみると、「口腔内診査・症状確認」が56.1%で最も多く、次いで「口腔衛生指導」（48.0%）、「義歯調整」（41.8%）、「スケーリング」（36.1%）、「歯周病検査」（29.9%）であった。

図表 122 当該初診期間内に行った診療内容（複数回答、n=768）

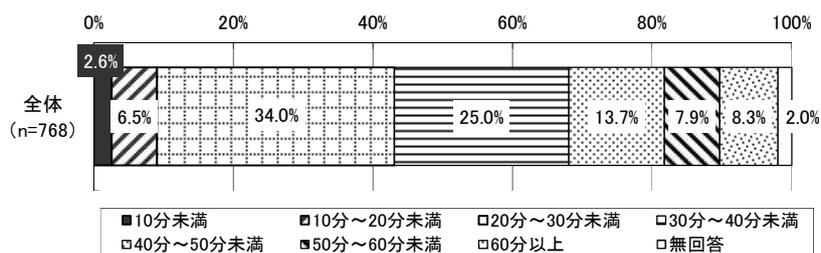


⑧調査日に患者の診療に要した時間

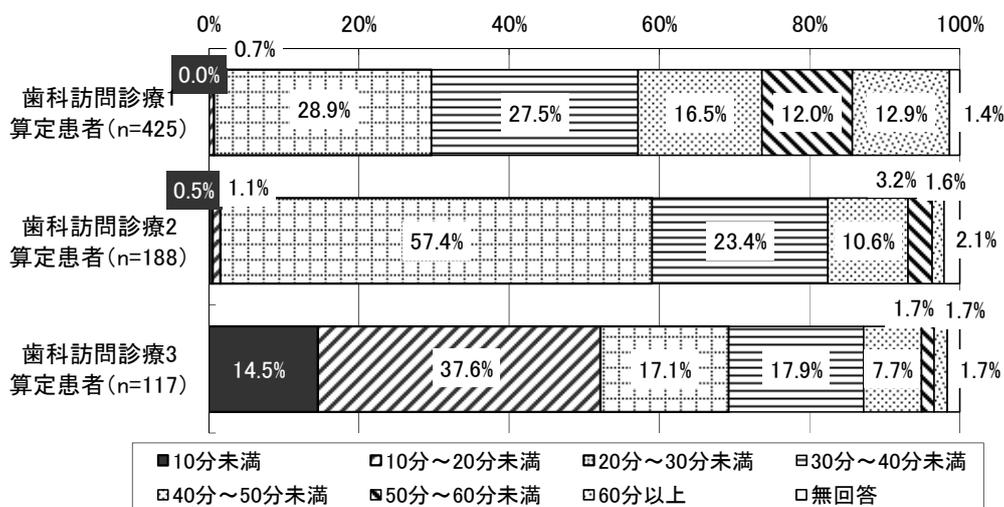
調査日に患者の診療に要した時間別分布をみると、「20分～30分未満」が34.0%で最も多く、次いで「30分～40分未満」(25.0%)であった。

算定した歯科訪問診療料の種類別にみると、歯科訪問診療1では平均39.2分(中央値35.0)、歯科訪問診療2では平均29.0分(中央値25.0)、歯科訪問診療3では平均22.7分(中央値17.0)であった。

図表 123 調査日に患者の診療に要した時間別分布



図表 124 調査日に患者の診療に要した時間別分布
(算定した歯科訪問診療料の種類別)



(注) 算定した歯科訪問診療料について記入のあったものを集計対象とした。

図表 125 調査日に患者の診療に要した時間
(算定した歯科訪問診療料の種類別)

(単位: 分)

	患者数(人)	平均値	標準偏差	中央値
全体	753	34.4	20.5	30.0
歯科訪問診療1	419	39.2	19.3	35.0
歯科訪問診療2	184	29.0	10.7	25.0
歯科訪問診療3	115	22.7	19.2	17.0

(注) 診療に要した時間について記入のあったものを集計対象とした。

⑨機器の準備・後片付けの時間

機器の準備・後片付けの時間は、平均 7.3 分（中央値 5.0）であった。

図表 126 機器の準備・後片付けの時間

（単位：分）

患者数(人)	平均値	標準偏差	中央値
725	7.3	6.0	5.0

（注）機器の準備・後片付けの時間について記入のあったものを集計対象とした。

